

# 小学校国語科における テキストを理解・評価しながら読む力の育成に関する研究

- 「教師用ガイドシート」と「児童用学習シート」の作成と活用をとおして -

## 補助資料目次

1	テキストを理解・評価しながら読む力の育成に関する指導事項リスト 指導事項リストA	1
2	第1年次の授業実践の資料 読むこと「学習したことを生かして」（5学年）教材文『大造じいさんとガン』 ・テキストを理解・評価しながら読む力の育成に関する教材における指導事項リスト 指導事項リストB ・単元指導計画表 ・児童用学習シート ・教師用ガイドシート	2 3 4 23
3	第2年次の授業実践〔実践1〕の資料 読むこと「文章を読んで自分の考えをもとう」（6学年）教材文『生き物はつながりの中に』 ・テキストを理解・評価しながら読む力の育成に関する教材における指導事項リスト 指導事項リストB ・単元指導計画表 ・児童用学習シート ・教師用ガイドシート	26 27 28 40
4	第2年次の授業実践〔実践2〕の資料 読むこと「読書の世界を深めよう」（6学年）教材文『森へ』 ・テキストを理解・評価しながら読む力の育成に関する教材における指導事項リスト 指導事項リストB ・単元指導計画表 ・児童用学習シート ・教師用ガイドシート	42 43 44 53
5	事後テスト	56

平成21年1月6日  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生（2年）  
谷村 晴子

## 指導事項リストA

第5学年及び第6学年 -

ア 自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むこと

イ 目的や意図などに応じて文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること

ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと

エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと

取り出す	解釈する	考えを明確にする
<取1> 指示語を取り出す <取2> 指示語の指示する内容を取り出す <取3> 中心語句を取り出す <取4> 中心文を取り出す <取5> 特徴的な表現を取り出す ・独特な言葉遣い ・図、表と関連する表現等 <取6> 接続語を取り出す <取7> 文末表現を取り出す <取8> 事象を取り出す <取9> 感想を取り出す <取10> 意見を取り出す	<解1> 段落ごとの要点をとらえる <解2> 段落相互の関係をとりえる <解3> 文章構成の工夫をとらえる <解4> 図の活用等、説明の工夫をとらえる <解5> 要旨をとらえる	<考明1> 説明の内容について自分の考えを明確にする <考明2> 説明の工夫について自分の考えを明確にする <考明3> 文章構成の工夫について自分の考えを明確にする <考明4> 筆者の主張について自分の考えを明確にする
<取11> 登場人物の行動を表す表現を取り出す <取12> 登場人物の性格を表す表現を取り出す <取13> 登場人物の心情を表す表現を取り出す <取14> 時間の経過を表す表現を取り出す <取15> 情景を表す表現を取り出す	<解6> 人物像をとらえる <解7> 登場人物の行動の意図をとらえる <解8> 人物描写の工夫をとらえる <解9> 情景の変化をとらえる <解10> 情景描写の工夫をとらえる <解11> 中心人物の心情の変化をとらえる <解12> 作者の物語の始まりや結末の工夫をとらえる <解13> 作者の題名設定の意図をとらえる <解14> 作品のテーマをとらえる	<考明5> 登場人物について自分の考えを明確にする <考明6> 人物描写の工夫について自分の考えを明確にする <考明7> 情景描写の工夫について自分の考えを明確にする <考明8> 作品の始まりや結末の工夫について自分の考えを明確にする <考明9> 作品の題名について自分の考えを明確にする <考明10> 作品のテーマについて自分の考えを明確にする

オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること

指導事項リストB 大造じいさんとガン -

	取り出す	解釈する	考えを明確にする
前書き	七十二さい こしひとつ曲がっていない 元気な老かりゅうど なかなか話し上手 血管のふくれたがんじょうな手 物語の設定 今から三十五、六年も前 作者の願い 山家のろばたを想像しながら、この物語をお読みください		
一の場面（ウナギつりばり作戦）	<p>&lt;取 14&gt;</p> <p>・今年も</p> <p>〔大造じいさんの言動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンの群れを率いて</li> <li>・頭領らしい、なかなかこうなやつ</li> <li>・油断なく気を配っていて</li> <li>・決して人間をよせつけませんでした。</li> </ul> <p>・いまいまいしく思っていました</p> <p>・今年こそはと、かねて考えておいた特別な方法に取りかかり</p> <p>・一晩じゅうかかって、たくさんウナギつりばりをしかけて</p> <p>・今度は、なんだかうまくいきそうなきがしてなりません</p> <p>・じいさんは、むねをわくわくさせながら</p> <p>・「しめたぞ。」じいさんはつぶやきながら</p> <p>・思わず子どものように声を上げて喜びました</p> <p>・たかが鳥のことだ</p> <p>・秋の日は美しくかがやいていました。</p> <p>・「はてな。」と首をかしげました。</p> <p>・「ううむ。」大造じいさんは、思わず感嘆の声を</p> <p>・どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、たいしたちえをもっているものだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大造じいさんの人物像と行動をとらえる【解釈シート】 &lt;解 7,8&gt;</li> <li>・残雪の行動をとらえる &lt;取 11,12,13&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物描写の工夫をとらえる【解釈シート】 &lt;考明 5&gt;</li> <li>・人物描写の工夫をとらえる【解釈シート】 &lt;考明 6&gt;</li> </ul>
二の場面（タニシばらまき作戦）	<p>・その翌年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例によって、ぬま地のうちでも見通しのきく所をえさ場を選んで</li> </ul> <p>・夏のうちから心がけて、タニシを五俵ばかり集めて</p> <p>・ガンの好みそうな場所にばらまいておきました。</p> <p>・うんとこさとまいておきました。その翌日も、そのまた翌日も同じようなことをしました。</p> <p>・会心のえみをもらしました。</p> <p>・あかつきの光が、小屋の中ですぐすがしく流れこんできました。</p> <p>・しめたぞもう少しのしんぼうだ。</p> <p>・今年こそは、目にも見せてくれるぞ。</p> <p>・りょうじゅうをぐつとにぎりしめた大造じいさんは、ほおがびりびりするほどひきまわりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油断なく地上を見下ろしながら</li> <li>・ふと、いつものえさ場に、昨日までなかった小さな小屋をみとめ</li> <li>・ぐつと、急角度に方向を変えるとそのぬま地のずっと西側のはしに着陸し</li> </ul> <p>・広いぬま地の向こうをじっと見つめたまま、「ううん。」とうなっていました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残雪の行動をとらえる &lt;解 7&gt;</li> <li>・情景の変化をとらえる &lt;取 14,15&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写の工夫をとらえる【解釈シート】 &lt;考明 7&gt;</li> </ul>
三の場面（おとり作戦+仲間を守る残雪）	<p>・今年もまた</p> <p>・いよいよ残雪の一群が今年も</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今年ひとつ、これを使ってみるかな。」と独り言を言いました</li> <li>・「うまくいくぞ。」</li> <li>・青くすんだ空</li> <li>・にっこりと</li> <li>・「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」</li> <li>・東の空が真っ赤に燃えて</li> <li>・いつものように群れの先頭に立って</li> <li>・美しい朝の空を、真一文字に横切って</li> <li>・大造じいさんのむねは、わくわくして</li> <li>・しばらく目をつぶって、心の落ち着くのを待ち</li> <li>・冷え冷えするじゅう身をぎゅつとにぎりしめ</li> <li>・今日こそ、あの残雪めにひとあわぶかせてやる</li> <li>・くちびるを二、三回静かにぬらし</li> <li>・「どうしたことだ。」じいさんは、小屋の外にはい出してみました。</li> <li>・ガンの群れは、残雪に導かれて</li> <li>・「あっ。」</li> <li>・じいさんは、ピュ、ピュ、ピュと口笛をふき</li> <li>・白い羽毛があかつきの空に光って</li> <li>・さっと大きなかげが空を横切りました。</li> <li>・ぐつとじゅうをかたに当て、残雪をねらいました。が、なんと思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました</li> <li>・残雪の目には、人間もはやぶさありませんでした。ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした。</li> <li>・いきなり、敵にぶつかっていきました。そして、あの大きな羽で、力いっぱい相手をなぐりつけました。</li> <li>・羽が、白い花弁のように、すんだ空に飛び散り</li> <li>・大造じいさんはかけつけました。</li> <li>・2羽の鳥は、なおも地上ではげしく戦っていました。</li> <li>・むねの辺りをくれないにそめて、ぐつたりとしていました。</li> <li>・残りの力をふりしぼって、ぐつと首を持ち上げました。そして、じいさんを正面からにらみつけました。</li> <li>・それは、鳥とはいえ、いかにも頭領らしい、堂々たる態度のようでありました。</li> <li>・大造じいさんが手をのばしても</li> <li>・もうじばたさわざませんでした。</li> <li>・強く心を打たれて、ただの鳥に対してのような気がしませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大造じいさんの心情の変化をとらえる &lt;解 10&gt;</li> <li>・大造じいさんの心情の変化をとらえる &lt;解 12&gt;</li> <li>・作品のテーマをとらえる &lt;解 13&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写の工夫をとらえる【解釈シート】 &lt;考明 7&gt;</li> <li>・作品のテーマについて自分の考えを明確にする【考明シート】 &lt;考明 8&gt;</li> </ul>
四の場面（残雪を見守る大造じいさん）	<p>・春になると</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひと冬をこし</li> <li>・ある晴れた春の朝でした。</li> <li>・おりのふたをいっぱい開けてやりました。</li> <li>・あの長い首をかたむけて、とつぜんに広がった世界におどろいたようでありました。が、パシッ。快い羽音一番、一直線に空へ飛び上がりました。</li> <li>・らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。</li> <li>・おうい、ガンの英雄よ。おまえみないなえらぶつを、おれは、ひきょうなやり方でやっつけたかあないぞ</li> <li>・おれたちは、また堂々と戦おうじゃないか</li> <li>・北へ北へと飛び去っていく</li> <li>・晴れ晴れとした顔つきで見守っていました</li> <li>・いつまでも、いつまでも、見守っていました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の題名設定の意図をとらえる &lt;解 15&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の題名について自分の考えを明確にする【考明シート】 &lt;考明 10&gt;</li> </ul>

...単元指導計画表...

【単元名】学習したことを生かして <16時間>

【教材】 大造じいさんとガン

【目標】 読みのめあてや学習課題の解決のため、学習方法を工夫して活動に取り組もうとしている。〔関〕  
登場人物の心情や情景描写など優れた叙述を味わいながら読み、作品のテーマについて考える。〔読ウ〕  
自分が考えたことや意図したことが分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話す。〔話・聞ア〕  
目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書く。〔書ア〕

時	学習指導目標	主な学習活動	指導の重点	具体的評価規準(Bの具体的な姿)	使用シート
1	物語を読んで、読みのめあてを決め、学習計画を立てることができる。	1 1年間で取り組んだ学習活動や身につけた力について振り返り、学習計画を立てる。		(関)自分で読みのめあてや学習課題を決め、学習方法を工夫して活動に取り組もうとしている。	
2		1 「大造じいさんとガン」を読み初発の感想をもつ。			
3		1 難語句を調べる。 2 読書発表会までの取り組みの見直しを持つ。			言語 - 難語句について調べる
4	前書きの効果を考えながら、物語の場面設定や大造じいさんの人柄をとらえることができる。	1 「前書き」から、物語の設定についてとらえる。	<取り出し> <解釈> ・話をする大造じいさんについての紹介を取り出す。 ・物語の中の大造じいさんの紹介を取り出し、物語の設定をとらえる。	(読ウ)前書きの部分から時、場所、人物の設定をとらえている。	取解 - 大造じいさんの人柄をとらえる
5	各作戦とその結果から大造じいさんの気持ちの変化をとらえることができる。	1 残雪に対する大造じいさんの気持ちの移り変わりを四場面のつながりでとらえる。	<取り出し> <解釈> ・場面ごとの大造じいさんの作戦とその結果に伴う大造じいさんの心情を表す表現を取り出す ・作戦ごとの大造じいさんの心情の変化をおおまかにとらえる。	(読ウ)全体を読み通し、場面ごとの大造じいさんの心情の移り変わりを大まかにとらえている。	取解 - 大造じいさんの心情の変化をとらえる
6	残雪の態度に感動する大造じいさんの気持ちをとらえることができる。	1 残雪の態度に強く心をうたれる大造じいさんの気持ちを読み取る。	<取り出し> <解釈> ・はやぶさに向かう残雪の姿に心が動く大造じいさんの心情を表す表現を取り出す。 ・残雪の行動に心を打たれる大造じいさんの心情をとらえる。	(読ウ)表現に着目して、大造じいさんの心情の移り変わりを読み取っている。	取解 - 登場人物の心情をとらえる
7	残雪を見守る大造じいさんの気持ちを読み深めることができる。	1 英雄と呼びかけながら残雪を見守る大造じいさんの気持ちの変容を考えながら作品のテーマに迫る。	<取り出し> <解釈> ・残雪が飛び立つシーンでスモモの花の散る情景を加えた作者の意図をとらえる。 ・登場人物の心情もあらかずような情景描写の効果について自分の考えを明確にする。	(読ウ)表現の効果を考えながら、大造じいさんの心情を読み取っている。	取解 - 表現の効果について考える
8	題名にこめた作者の思いを考えることができる。	1 題名を「大造じいさんとガン」とした理由を考えながらテーマに迫る。	<解釈> <考えを明確にする> ・物語の題名について自分の考えを明確にする。 ・大造じいさんの残雪に対する呼び方の変化から作者の意図をとらえる。	(読ウ)作品の題名について自分の考えを明確にしている。	考明 - 物語の題名について自分の考えを明確にする
9	作品のテーマについて、自分の考えをもつことができる。	1 「大造じいさんとガン」のテーマについて、自分の考えを持つ。	<考えを明確にする> ・作品にこめられた作者の思いや願いをとらえ、そのことについて自分の考えを明確にする。	(読ウ)作品のテーマについて自分の考えを明確にしている。	考明 - 作品のテーマについて自分の考えを明確にする
10 ~ 14	読書発表会に向けて、紹介する本を決め、紹介文を書くことができる。	1 「大造じいさんとガン」の学習を振り返り、自分で取り組む課題を決める。 2 読書発表会に向けて、個人やグループで準備を進める。		(関)読書発表会に向け、学習方法を工夫して活動に取り組もうとしている。 (書ア)自分が読んだ作品について、テーマや書き手の工夫にふれながら、紹介文を書くことができる。	
15 16	読書発表会で椋鳩十の作品について意見を交流することができる。	1 読書発表会を開き感想を交流する。 2 学習全体を振り返る。		(話・聞ア)話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話す。	

組・氏名

次の言葉の意味を調べましょう。

ページ		語句	意味	活用(使い道メモしておこう)	正
87		らんまん			
86		くれない			
86		みつめる			
85		くものこ			
83		ひつね			
82		出水			
80		しんが			
79		目よみ			
79		あかつき			
78		会心のえみ			
78		あんばい			
78		俵			
77		感嘆の声			
75		頭領			
74		ろばた			
74		山家			
74		自在かぎ			
74		いろり			
74		ふもと			
74		かりゆじど			

組 番・氏名

【一】 初めの感想を書きましょう。

Blank writing area for the first response, featuring ten horizontal dashed lines within a rounded rectangular border.

【二】 その他(椋さんのことや椋さんの他の作品のこと)で知っていることなど)

Blank writing area for the second response, featuring ten horizontal dashed lines within a rounded rectangular border.

その他				作者の工夫			内容		ポイント		
							テーマ			ストーリー	
								No			
初めての知った、気になった言葉や項目	これから学習でがんばりたいこと	作品のテーマに関わって知っていること	作者の別の作品を読んだこと	作者について知っていること	題名の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動の描写</li> <li>情景描写</li> </ul>	表現の工夫 物語の展開や構成の工夫	納得できないこと なるほどと思うこと こんなテーマ	不思議に思ったこと 登場人物の会話 登場人物の行動	心に残ったこと ・感動した場面	具体的な内容
									初		
									後		

組 番・氏名

前書きの効果について考えましょう。

【一】74 ページの前書きのことについて、まさこさんとよしとさんが意見を交流しています。

まさこさん

私は、最初に前書きみたいなものがあるのは、初めて読みました。椋さんは、どうしてお話の前にこのような部分をつけたのか疑問に思いまし

よしとさん

それは、この話は昔の話だし、前書きがあったほうがお話の舞台がはっきりわかるからではないかと思います。

まさこさん

でも、前書きなどなしで、「今年も、残雪は……」と話に入ったほうが、印象的で読む人を引きつけるような気がします。  
たしか、「わらべつの中の神様」もおばあちゃんが昔の話をしたけれど、おばあちゃんともさえがこたつの中で話を聞く場面から始まっていて、おばあちゃんの話で昔話に悩まず入っていくことができました。前書きのような説明がないので、「雪がしんとふっています。」という物語の始まりも印象的でした。

あなたは、前書きについてどう思いましたか。椋さんは、なぜ前書きを加えたのでしょうか。

組 番・氏名

前書きの効果について考えましょう。

【一】74 ページの前書きのことについて、まさこさんとよしとさんが意見を交流しています。

まさこさん

私は、最初に前書きみたいなものがあるのは、初めて読みました。椋さんは、どうしてお話の前にこのような部分をつけたのか疑問に思いまし

よしとさん

それは、この話は昔の話だし、前書きがあったほうがお話の舞台がはっきりわかるからではないかと思います。

まさこさん

でも、前書きなどなしで、「今年も、残雪は……」と話に入ったほうが、印象的で読む人を引きつけるような気がします。  
たしか、「わらべつの中の神様」もおばあちゃんが昔の話をしたけれど、おばあちゃんともさえがこたつの中で話を聞く場面から始まっていて、おばあちゃんの話で昔話に悩まず入っていくことができました。前書きのような説明がないので、「雪がしんとふっています。」という物語の始まりも印象的でした。

あなたは、前書きについてどう思いましたか。椋さんは、なぜ前書きを加えたのでしょうか。

椋さんは、前書きからお話の中の大造じいさんを想像して読んでほしかったのだと思います。わたしは、前書きを読んで、物語の「大造じいさん」が、あまり年とった人ではないことが分かったし、若いころの元気な大造じいさんを想像することができました。

組 番・氏名

各場面のつながりを考えましょう。

各場面にタイトルをつけましょう。

四の場面	三の場面	二の場面	一の場面	
ひと冬 すこし 春	今年も また (二年目)秋	その 翌年 (二年目)秋	今年も 秋	年月
				タイトル
				ヒント)
				(

あなたが一番心に残ったのは、どの場面ですか。それは、なぜですか。

わたしが一番心に残ったのは、( )  
の場面です。その理由は、

組 番・氏名

各場面のつながりを考えましょう。

各場面にタイトルをつけましょう。

年月	タイトル	ヒント
今年も 秋	<ul style="list-style-type: none"> <li>感嘆の声をもらす大造じいさん</li> <li>ウナギつりばり作戦</li> <li>りこつな残雪</li> </ul>	<p>タイトルをつける際に、着目したポイントを記入する。 (例) ・大造じいさんの行動や気持ち ・大造じいさんの作戦 ・残雪の行動</p> <p>ポイントにそって、タイトルを考えるヒントになった記述を取り出して記入する。</p>
その翌年も (二年目)秋	<ul style="list-style-type: none"> <li>うなる大造じいさん</li> <li>タニシばらまき作戦</li> <li>見やぶる残雪</li> </ul>	
今年も また (二年目)秋	<ul style="list-style-type: none"> <li>心を打たれる大造じいさん</li> <li>おとり作戦</li> <li>仲間を守る残雪</li> </ul>	
ひと冬 すこし 春	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守る大造じいさん</li> <li>堂々と戦おう</li> <li>飛び立つ残雪</li> </ul>	

あなたが一番心に残ったのは、どの場面ですか。それは、なぜですか。

わたしが一番心に残ったのは、(三)の場面です。その理由は、自分が傷ついても仲間を救うためにはやぶさに立ち向かったり、最後の時を感じてもじたばたしないで頭領らしい堂々とした態度をとったりする残雪の勇気に感心したからです。

組 番・氏名

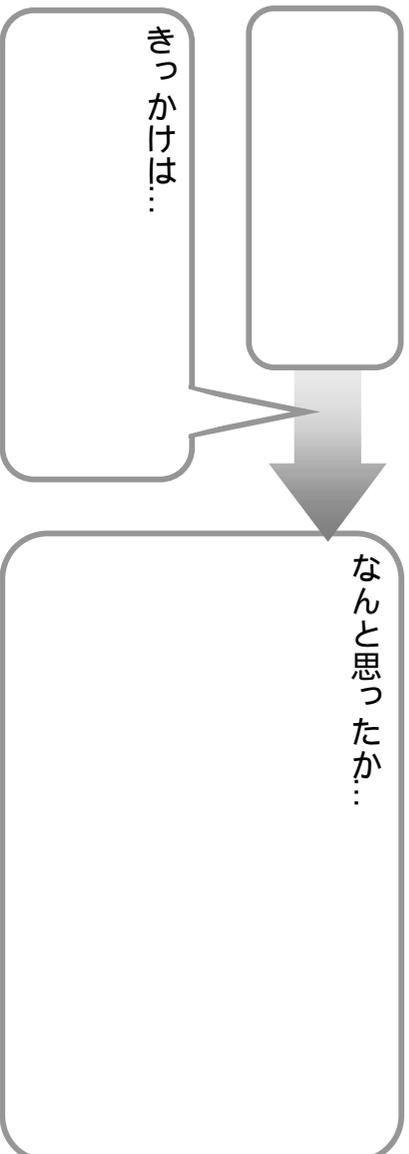
大造じいさんの気持ちの変化が表れる行動について考えましょう。

【一】大造じいさんの気持ちの変化について考えましょう。

(ア) 大造じいさんの行動の変化がわかる表現を取り出しましょう。

ゆ	た	を	大
う	が	か	造
を	が	た	じ
下	な	に	い
ろ	ん	当	さ
し	と	て	ん
て	思	、	は
し	っ	残	ぐ
ま	た	雪	っ
い	か	を	と
ま	、	ね	じ
し	再	ら	ゆ
た	び	い	し
。	じ	ま	う

(イ) どんな気持ちが表れているのでしょうか。



【二】じたばたさわがない残雪に対する大造じいさんは、どんな気持ちだったでしょう。

A large rectangular box with a thick border and rounded corners, containing several vertical dashed lines for writing.

『大造じいさんとガン』 椋 鳩十

組 番・氏名

大造じいさんの気持ちの変化が表れる行動について考えましょう。

【一】大造じいさんの気持ちの変化について考えましょう。

大造じいさんの行動の変化がわかる表現を取り出しましょう。

大	造	じ	い	さ	ん	は	、	ぐ	つ	と	じ	ゆう	
を	か	た	に	当	て	、	残	雪	を	ね	ら	い	まし
た	。	が	、	な	ん	と	思	っ	た	か	、	再	び
ゆう	を	下	ろ	し	て	し	ま	い	ま	し	た	。	

どんな気持ちが表れているのでしょうか。

ぜったいしと  
めてやる。

きっかけは…  
残雪とハヤブサの  
戦い

なんと思っただか…  
残雪は、自分がおとりとして使おうとしていたガンを救うために命がけで戦っている。そんな残雪をうつことはできない。

【二】じたばたさわがない残雪に対する大造じいさんは、どんな気持ちだったでしょう。

自分の命をきけんにさらしてまで、仲間のガンを助けようとするなんて、お前はなんて勇氣あるガンの頭領なんだ。今、最後の時を感じても、頭領としてのいげんをきずつけまいと堂々としているなんて、ガンとは思えないようだ。

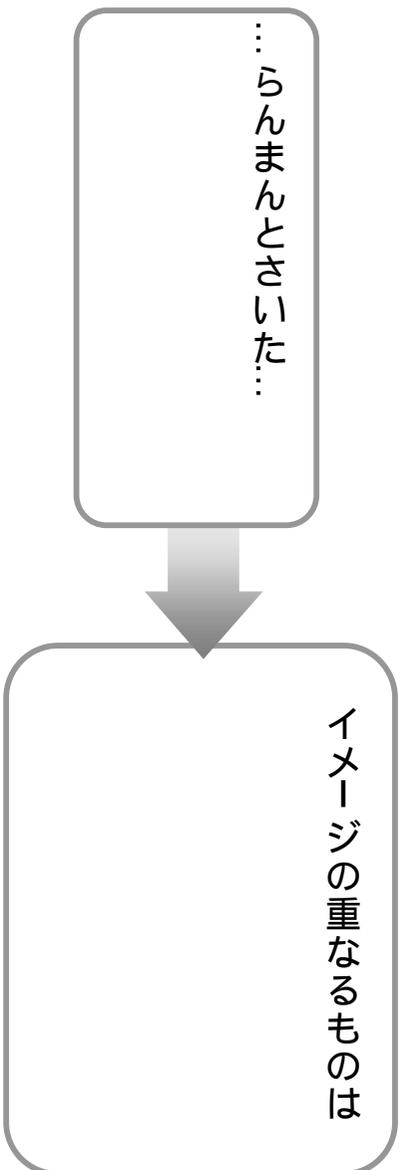
組 番・氏名

情景描写について考えましょう。

【一】残雪が飛び上がったときの情景描写を取り出しましょう。

か	そ	ら
に	の	ん
、	羽	ま
は	に	ん
ら	ふ	と
は	れ	さ
ら	て	い
と	、	た
散	雪	ス
り	の	モ
ま	よ	モ
し	う	の
た	に	花
。	清	が
	ら	

【二】「らんまんとさいた」とは、どんな様子でしょう。



【三】「雪のよつに清らかだ」「とイメージが重なるのはどんなことでしょう。

Blank writing area with vertical dashed lines for notes.

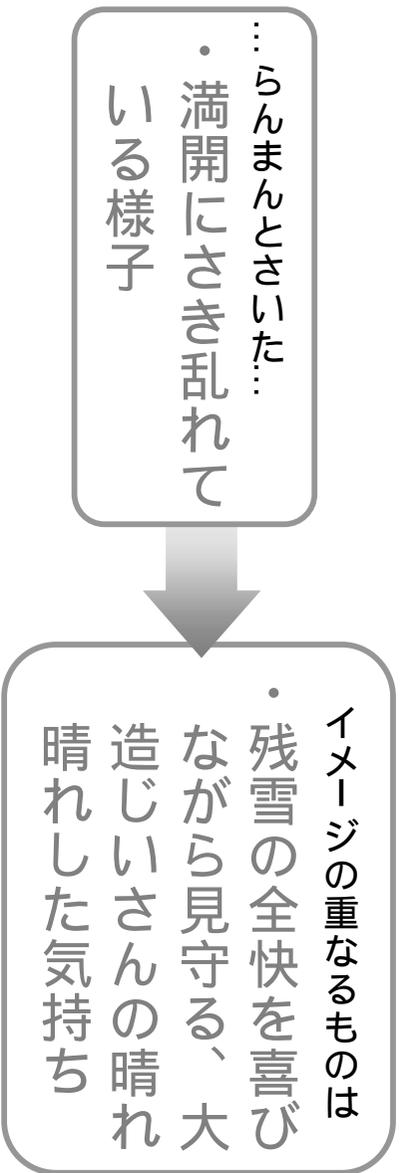
組 番・氏名
--------

情景描写について考えましょう。

【一】残雪が飛び上がったときの情景描写を取り出しましょう。

ら	ま	ん	と	さ	い	た	ス	モ	モ	の	花	が		
そ	の	羽	に	ふ	れ	て	、	雪	の	よ	う	に	清	ら
か	に	、	は	ら	は	ら	と	散	り	ま	し	た	。	

【二】「らんまん」とさいいたとは、どんな様子でしょう。



【三】「雪のように清らかに...」とイメージが重なるのはどんなことでしょう。

大造じいさんは、飛び立っていく残雪の全快と、次の冬にはまた正々堂々と戦うことができることを心からうれしく感じている。  
「清らかに」という言葉は、ひきょうなやり方をきらう大造じいさんの清らかな心とイメージが重なる。

『大造じいさんとガン』 椋 鳩十

組 番・氏名

物語の題名について考えましょう。

【一】 「大造じいさんとガン」という題名について、まささんが意見を述べています。

まささんと

ぼくは、椋鳩十さんがどうして「大造じいさんとガン」という題名にしたのか疑問です。ぼくだったら、「大造じいさんと残雪」にします。

その理由は、大造じいさんが心を動かされたのは、残雪が自分の仲間を守るために勇敢に立ち向かっていく姿を見たからで、ガンたちの行動には関係ないと思うからです。大造じいさんは、ガンをつかまえるために作戦をねったのに、いつも残雪に邪魔されて失敗しました。この話は、大造じいさんと残雪とのやりとりが中心に描かれているのです。だから、どのガンでもいいような「大造じいさんとガン」という題名よりも「大造じいさんと残雪」の方がぴったりだと思います。

あなたは、まささんの意見に賛成ですか。反対ですか。立場を決めて意見を述べましょう。

反対	まささんの意見に	賛成
↓		↓
<p>わたしだったら、</p> <p>「</p> <p>という題名にします。</p> <p>理由は、</p>		
<p>理由を考 えるための 根拠は...</p> <p>( )自分の物語の読み取りから</p> <p>( )椋鳩十さんの「ガン」にこめた思いから</p> <p>( )椋鳩十さんの他の作品との関わりから</p> <p>( )その他...</p>		

組 番・氏名

物語の題名について考えましょう。

【一】 「大造じいさんとガン」という題名について、まさとさんが意見を述べています。

まさとさん

ぼくは、椋鳩十さんがどうして「大造じいさんとガン」という題名にしたのか疑問です。ぼくだったら、「大造じいさんと残雪」にします。その理由は、大造じいさんが心を動かされたのは、残雪が自分の仲間を守るために勇敢に立ち向かっていく姿を見たからで、ガンたちの行動には関係ないと思うからです。大造じいさんは、ガンをつかまえるために作戦をねつたのに、いつも残雪に邪魔されて失敗しました。この話は、大造じいさんと残雪とのやりとりが中心に描かれているのです。だから、どのガンでもいいような「大造じいさんとガン」という題名よりも「大造じいさんと残雪」の方がぴったりだと思います。

あなたは、まさとさんの意見に賛成ですか。反対ですか。立場を決めて意見を述べましょう。

反対	まさとさんの意見に	賛成
<p>わたしだったら、 「大造じいさんとガン」という題名にします。</p> <p>理由は、この話は、作戦を見破るガンのちえや仲間を助けるために戦うガンの行動に感動する大造じいさんの姿が描かれているからです。椋さんは、大造じいさんが「ガンの英雄」と呼びかける場面でガンと本気で戦っている大造じいさんのすばらしさを伝えたかったのだと思います。</p>		
理由を考 えるための 根拠は...	( )自分の物語の読み取りから ( )椋鳩十さんの「ガン」にこめた思いから ( )椋鳩十さんの他の作品との関わりから ( )その他...	

組 番・氏名

物語のテーマについて考えましよう。

テーマ

心に残った場面は…

椋さんは…

自分は…

( ) ( )

椋さん、なるほど！

( ) ( )

椋さん、なるほど！

組 番・氏名

物語のテーマについて考えましょう。

**テーマ** 友情・協力・思いやりの心・など，椋さんが伝え  
たかったことを一言で表してみましょう。

・この作品から学んだことをこんなふうに生かしていきたい。  
・作品を学習して感じたことや今後考えてみたいこと 読んでみた  
い作品など。

**椋さんは…**

・自分が選んだ場面から 椋  
さんが どんなことを伝え  
ようとしていたと思うか  
記入しましょう。  
・テーマを詳しく説明しまし  
よう。

**心に残った場面は…**

・心に残った場面は だれが  
どんなことをしていた場  
面か記入しましょう。

**自分は…**

・テーマについて自  
分の意見を記入  
しましょう。  
・自分の体験などが  
ら理由を考えま  
しょう。  
「なるほど」  
「大切だ」と  
感じた理由。  
「納得できな  
い」と感じた  
理由。

( ) なるべく、なるべく！ ( ) なるべく、なるべく！

「なるほど」と感じた友達の見解をメモしておきましょう。

『大造じいさんとガン』 椋 鳩十

組 番・氏名

物語のテーマについて考えましよう。

# テーマ 清らかな心

心に残った場面は…

残雪が、仲間のために命がけてハヤブサと戦う場面

椋さんは…

仲間を守るために命がけて戦う残雪に感動して、堂々と戦おうとした大造じいさんの清らかな心を伝えようと思ったと思う。

自分は…

大造じいさんはりようしだから、本当はつかまえた方が利益になるのに、残雪を助けて堂々と戦おうとしていてすばらしいと思った。

たとえば、鳥でもひきょうなやり方ではなく堂々と戦えることは、すばらしいことだと思った。他の動物の出てくる作品も読んでみたい。

( ) ちゃんじ、なるほど！

( ) ちゃんじ、なるほど！

組 番・氏名

【一】 心に残ったことやこの作品を学習して感じたことを書きましよう。

Blank writing area with 10 horizontal dashed lines for notes.

【二】 その他(作者についてもっと知りたいことなど)

Blank writing area with 5 horizontal dashed lines for notes.

『大造じいさんとガン』 椋 鳩十

組 番・氏名

作品を紹介しよう。

## 作品名

この作品のテーマは…

心に残った場面は…こんな場面からテーマをとらえた

その他のおすすめポイントは…作者の工夫 など

つめのしほりね…

組 番・氏名

友だちの紹介を聞いて考えたことをメッセージカードに記入して、届けましょう。  
発表を聞いて、感じたことをメモしましょう。

(メモの記入の仕方)

### かんく

- \* 「なるほど。」「思ったこと」
- \* 「おもしろそうだ。」「思ったこと」
- \* 「同じ物語を読んで、自分はこんなテーマとらえたが、こんな考え方はできないか。」「など、友達に伝えたいこと。」

( ) ( )

特に参考になったのは…

友だちのメモから、自分の読みをふり返りましょう。

- \* 友だちから受け取ったメモをこのらんに貼り付けましょう。
- \* 受け取ったメモを参考にして自分の読み方をふり返り、感じたことを左のらんに記入しましょう。

シートの活用目的

「大造じいさんとガン」の初発の感想から、児童の読み取り状況を把握し読みのポイント確認へつなげる。

学習のポイント

読書発表会に向けての取り組みのねらいをうけて感想を持つ際の観点を示し、初発の感想を記述させる。

学習シート

内容について  
心に残ったこと  
不思議に思ったこと  
テーマについて考えたこと

工夫について  
作者の工夫だと思うこと

感想を交流し、読みのポイントを整理する。

児童の感想	No	具体的な内容	別
残雪は、頭領らしくてカッコいい。		心に残ったこと	ストーリー 内容
仲間を守ろうとする残雪は、すごい。		感動した場面	
大造じいさんは、残雪を助けてやさしい。		登場人物の会話、行動	
大造じいさんの最後のせりふが好き。		不思議に思ったこと	テーマ
なぜ、大造じいさんは残雪を打たなかったのだろう。		こんなテーマ	
なぜ、大造じいさんは残雪をとらえたかったのだろう。		なるほど思ったこと 納得できないこと	
なぜ、大造じいさんはせっかつかまえた残雪をにがしたのだろう。		物語の展開や構成の工夫	作者の工夫
いきなり始まらないのが不思議だ。		表現の工夫	
仲間を思いやる気持ちがテーマではないか。		登場人物の行動の描写 情景描写	
なぜ、「大造じいさんと残雪」ではないのか。		題名の工夫	その他
・椋鳩十さんは、動物の話がたくさん書いている。		作者について知っていること	
・椋鳩十さんの「マヤの一生」を読んだことがある。		作者の別の作品を読んだこと	
・いいお話だったので、他の作品も読んでみたい。		作品のテーマに関連して知っていること 自分の体験 ・ニュース等の報道	
		これからの学習でがんばりたいこと	

ポイントの整理後、学習の進め方について確認する。

- ・ 不思議に思った内容については授業の中で考えていくこと
- ・ ふれられなかったポイントについても考えていくこと

シートの記入例

感想の他に、作者について知っていることや、同作者の作品で読んだことのある作品に関して記述させておくと、児童の読書状況を把握することができます。

【1】 初めの感想を書きまじへよう。

ぼくは、初めてこの話を読んで残雪がおどりのガンを助けるためにハヤブサに立ち向かっていく場面に感動しました。残雪は、頭領として仲間のガンを助けようとしたのだと思いました。残雪は勇気のあるガンなのに、なぜ大造じいさんは残雪をつかまえたのだと、のが不思議でした。①でも、残雪が傷ついたり大造じいさんが助けたので、大造じいさんは優しい人だと思いました。②せっかくつかまえたのになぜにがしたのが不思議です。③

④のお話は、「わらくつの中の神様」とちがっていきなり始まらないので、不思議だと思いました。

これらのポイントについて、単元を通して触れていく学習課題として提示しておくことにより、児童に課題意識をもたせることができる。

学習シートのチェックの際に、児童の記述が一覧の中のどのポイントに触れているものであるか分かるよう示すことにより、自分が触れられたポイント触れられなかったポイントを意識しながら作品を読むよう促すことができる。

不思議だと思ったことで、テーマや書き手の工夫につなげられることをおさえておく授業の導入として使うことができる。ポイントごとに整理して児童の初発の感想をまとめておくと児童を活躍させることができる。

シートの活用目的

「大造じいさんとガン」という題名について自分の立場を明確にして考えることにより、作者の題名に込めた思いをさぐる。

学習のポイント

「大造じいさんとガン」という題名について反対の立場で述べた意見を読み、自分の立場を考えさせる。

学習シート

まさとさんに賛成

・「大造じいさんと残雪」がよい

まさとさんに反対

・「大造じいさんとガン」がよい  
・その他の題名

どんな観点から自分の考えを述べるか決めて考えさせる。

- a 椋さんの「ガン」にこめた思いから
- b 自分の物語の読みから
- c 椋さんの他の作品とのかかわりから

どのように考えたらよいかとまどっている児童には、次の点をアドバイスしながら、自分の考えを表現するよう促す。まさとさんのように、作者とはちがう題名でもよい自分が一番心に残った場面に着目して(b)述べてよい

自分の決めた立場で、どんな題名がよいと思うか意見を記述・交流させる。

【「大造じいさんと残雪」がよい意見の根拠例】

- ・大造じいさんと残雪との戦いが中心に描かれているから(b)
- ・自分のことより仲間を大切にしている残雪のすばらしさが描かれているから(b)
- ・大造じいさんが心を動かされたのは、残雪のおかげだから(b)
- ・椋さんは、「マヤとはなこ」のように名前をついた動物は、題名にしているから(c)

作品の中から根拠を明らかにして「大造じいさんと残雪」に賛成が述べられているかどうかを確認しながら、自分の意見を表現させる。

【「大造じいさんと残雪」に反対 「大造じいさんとライバル残雪」がよい意見の根拠例】

- ・ガンのリーダーの残雪は、たいしたちえのもち主で大造じいさんのしかけたわなにもかからないので大造じいさんとライバルになっていったから

自分なりの根拠としては、不十分であることから、「椋さんのどんな思いが込められていたのか」考えるよう促す。

【「大造じいさんと残雪」に反対 「大造じいさんとガン」がよい意見の根拠例】

- ・椋さんがガンへの思いがこめられた題名は変えないほうがよいから(a)
- ・ガンについて広がった疑問が解決して、物語を読む楽しみが増えたから。(b)
- ・えさ場を守ったりおとりのガンを守ったりするガンの行動が描かれているから(b)
- ・大造じいさんが、ただの鳥と思っていたガンの知恵のすばらしさや仲間を守ろうとする行動に感動して、ガンのすばらしさを感じるようになる話だから(b)
- ・椋さんは、他の物語でも「片耳の大鹿」や「たたかうカモシカ」というように登場する動物がわかるように題名をつけているから(c)

このような意見は、「残雪」側からしか考えていなかった児童にも、ちがう立場で考えるきっかけとなる。意見の交流を通して「なぜ、椋さんは「大造じいさんとガン」という題名にしたか考えてみるよう促す。

作者も悩みながら現在の題名にしたことを知らせ、作者の思いが込められた題名であることを確認し、テーマを考える次時へつなぐ。

シートの記入例

反対	まさとさんの意見に	賛成
<p>「大造じいさんと残雪」がよい意見の根拠例</p> <p>理由を考えるための根拠は...</p>	<p>「大造じいさんと残雪」がよい意見の根拠例</p> <p>理由を考えるための根拠は...</p>	<p>「大造じいさんとガン」がよい意見の根拠例</p> <p>理由を考えるための根拠は...</p>

あなただけは、まさとさんの意見に賛成ですか、反対ですか、立場を決めて意見を述べましょう。

まさとさん  
その理由は、大造じいさんが心を動かされたのは、残雪が自分の仲間を守るために勇敢に立ち向かっていく姿を見たら、ガンさんの行動には感動し、思いついた。大造じいさんと残雪は、ガンをつかまえるために作られたのに、いつも残雪に邪魔されて失敗しました。この話は、大造じいさんと残雪とのやりとりが中心に描かれているのです。だから、どのガンでもよいかな、大造じいさんとガン、という題名よりも、大造じいさんと残雪の方がよかったと思います。

【二】、大造じいさんとガンという題名について、まさとさんが意見を述べています。ほくは、椋十さんがうらうら「大造じいさんとガン」という題名にしたのか疑問です。に立ち向かっていく姿を見たら、ガンさんの行動には感動し、思いついた。大造じいさんと残雪は、ガンをつかまえるために作られたのに、いつも残雪に邪魔されて失敗しました。この話は、大造じいさんと残雪とのやりとりが中心に描かれているのです。だから、どのガンでもよいかな、大造じいさんとガン、という題名よりも、大造じいさんと残雪の方がよかったと思います。

物語の題名について考えましょう。

組 番・氏名

月 日 ( )

記述についての評価

A 自分の立場をはっきりさせて、作品の記述から考えたことを根拠に自分の考えを述べるができる。

B 自分の立場をはっきりさせて、作品の記述を根拠に自分の考えを述べるができる。

C 児への手立て  
友だちの考えも参考にしながら自分の考えを記述するよう促す。

シートの活用目的

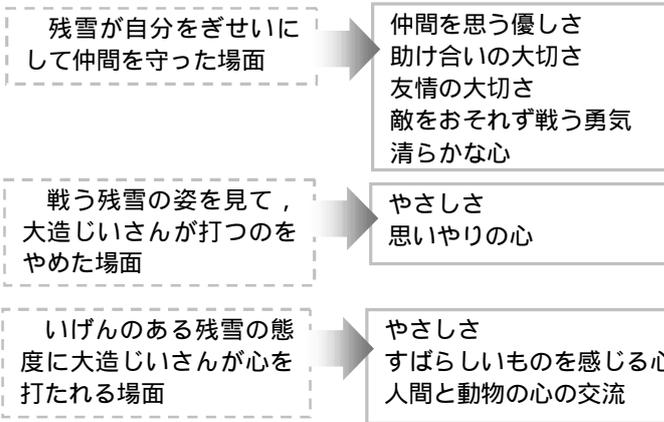
残雪の行動，大造じいさんの行動に着目し，作品のテーマについて考える。

学習のポイント

「大造じいさんとガン」のテーマについて，心に残った場面を根拠にしなが意見を書き記述させる。意見を交流し，自分の考えを深めさせる。

学習シート

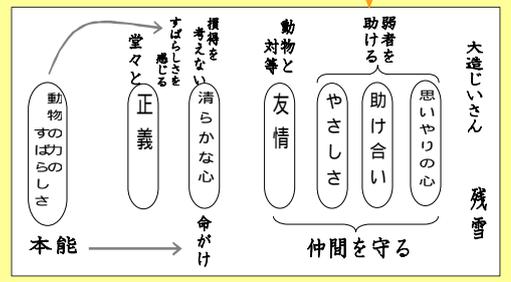
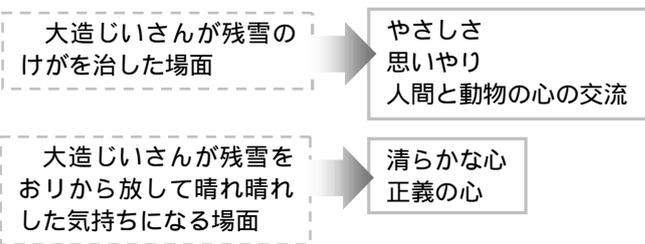
・三の場面に着目



同じ場面からでも，テーマとしてさまざまな意見が出てくること，ちがう場面から同じテーマが出てくることが考えられる。  
自分が根拠とした場面とテーマとしてあげたことと対応しているかどうか確認しながら，意見を聞く。

テーマとしてあげたことが残雪にも大造じいさんにも共通して考えられることにもふれながら児童の意見を整理する。

・四の場面に着目



「大造じいさんとガン」の書かれた時代(第2次世界大戦中)についてふれ，作者の伝えたかったこと・作者について興味を広げるきっかけとする。

- ・戦争のときは，どんなにすばらしい人でも敵ならば殺さなければならなかった
- ・どんなにひきょうなやり方でも，敵をたおさなければならぬ

このような時代に，何を伝えようとしたのか考えることも，作者の思いを考えるとうえで大切であることを伝える。

シートの記入例

記述についての評価

- A 自分が心を打たれた場面から作者の意図を考え，作品のテーマについて自分の考えを記述することができる。
- B 自分が心を打たれた場面から作品のテーマについて自分の考えを記述することができる。
- C 児への手立て  
自分の選んだ場面で，登場人物のどんな行動に心を惹かれたのか振り返らせる。

思考過程 文章構成	取り出す	解釈する	考えを明確にする
問題提起	<p>取1,2,3,4</p> <p>・イヌ型ロボット.....生き物であるイヌとそっくりな動きをするよう工夫 ...とてもかわいい                  ・でも、ロボットのイヌは本物のイヌとはちがいがい...どこが ちがう                  ・その ちがいを考えながら、<b>生き物の特徴</b>をさぐってみましょう。 【問題提起】</p>	<p>【取解シート】</p> <p>・段落ごとの 要点をとらえる 解1</p>	<p>・説明の内容について 自分の考えを明確にする 考明1</p>
問題 題 解 明	<p>取5</p> <p>・本物のイヌは呼吸をしています。 えさを食べ、水を飲んで、おしっこやうんちを体から出します。                  ・このように、<b>生き物は、外から必要なものを取り入れ、内から不要なものを出して、内と外とで物質のやり取りをしています。</b></p> <p>・ロボットのイヌは呼吸もせず、 食べたり飲んだりすることはありません。                  ・ただ 動くためにはエネルギーが必要 外から電池を入れ、なくなったら交換                  ・<b>生き物と同じに見えますね。 本当に同じでしょうか。</b></p> <p>・本物のイヌが、とり肉を食べたとします。                  ・ここで作られるのは、イヌの体を作るタンパク質...                  ・<b>あなた</b>が昨日食べたカレーライスのふた肉は、.....今<b>あなた</b>の一部として働いています。                  ・つまり、<b>外から取り入れたものが自分の一部になるのが生き物</b>なのです。                  ・ロボットの場、電池がイヌの体に変わることは決してありません。                  ・電池は電池、ロボットはロボット</p> <p>・外から取り入れたものが自分の一部になる、<b>そのような</b>つながり方で外とつながっているのが、<b>生き物の特徴</b>です。 【特徴1】</p> <p>・同じチロなのに、月日とともに変わりましたね。                  ・<b>あなた</b>も、.....変わったでしょう。                  ・生き物は、一秒たりとも同じではないのです。                  ・でも チロはチロ、<b>あなた</b>は<b>あなた</b>というように、一生を通じてつながっていることも確かです。</p> <p>・変化・成長しながら、一つの固体として時間をこえてつながっている、これも <b>生き物の特徴</b>です。 【特徴2】</p> <p>・イヌは、母イヌから生まれます。                  ・<b>あなた</b>も、.....生まれました。                  ・そして、両親も.....生まれてきたのです。                  ・こうしてたどっていくと 地球上の生命の始まりにまでさかのぼれます。</p> <p>・チロも <b>あなた</b>も、<b>長い長い生命の歴史があったから生まれた</b>のです。 【特徴3】</p>	<p>【取解シート】</p> <p>・対比を使って説明している 筆者の工夫をとらえる 解4</p> <p>・「あなた」という言葉を使った 筆者の意図をとらえる 解4</p> <p>【取解シート】</p> <p>・段落相互の 関係をとらえる 解2</p> <p>・文章構成の工夫をとらえる 解3</p>	<p>・説明の工夫について 自分の考えを明確にする 考明3</p> <p>・文章構成の工夫について 自分の考えを明確にする 考明2</p>
まとめ	<p>取6,7,8</p> <p>・生き物は <b>外的世界とつながり</b> <b>一つの固体としてつながり</b> 【まとめ】  <b>長い時間の中で過去の生きものたちとつながる</b>                  どのように、さまざまなつながりの中で生きていることが分かりました。                  ・この<b>つながりこそ</b>が、生き物の生き物らしいところであり、ロボットとのちがいです。</p>	<p>【取解シート】</p> <p>・要旨をとらえる 解5</p>	<p>・筆者の主張について 自分の考えを明確にする 考明4</p>
主張	<p>取9,10</p> <p>・<b>あなた</b>は生き物です。                  ・だから、たくさんの<b>つながり</b>をもっています。                  ・身の回りにある水や空気、大勢の人々や生きものたちとはもちろん、 過去や未来とも <b>つながり</b>ています。                  ・<b>あなた</b>は、今日も <b>あなた</b>であり、明日もあなたであり続ける、 たった一つのかけがえない存在です。                  ・と同時に <b>あなた</b>は <b>あなた</b>以外のすべてとつながっているのです。                  ・そう考えると <b>自分を大切にすることと他を大切にすることは同じことだ</b>という気持ちになりませんか。                  ・そして、今 <b>あなた</b>が生き物として生きているということが、とてもすてきなことに思えてきませんか。 【主張】</p>	<p>【取解シート】</p> <p>【考明シート】</p>	<p>【考明シート】</p>

...単元指導計画表...

【単元名】文章を読んで、自分の考えをもとう < 7時間 >

【教材文】生き物はつながりの中に(説明文)

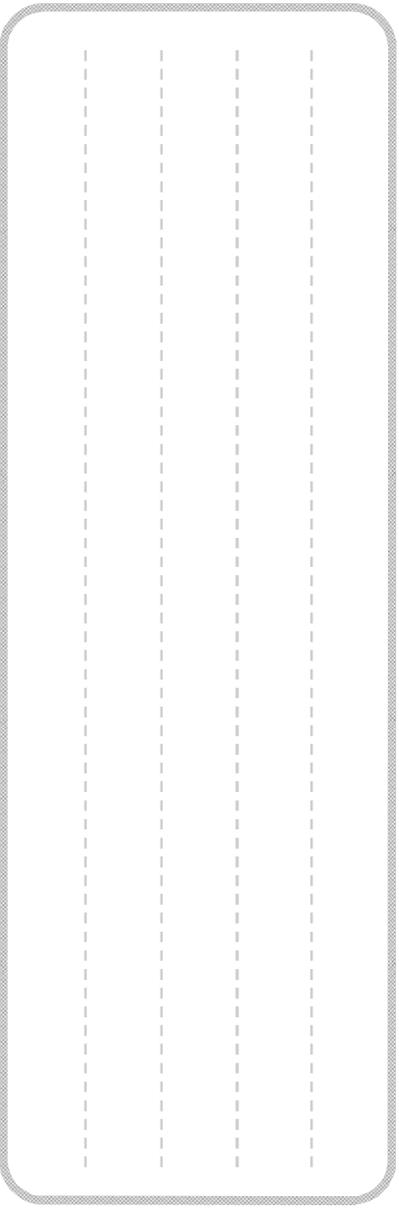
- 【目標】 筆者の述べる内容に関心をもち、考えを広げたり深めたりしながら意欲的に読む〔関〕  
 生き物の特徴と筆者の主張を読み取り、要旨をとらえることができる。〔読イ〕  
 筆者の考えについて、自分の考えを明確にしながら読むことができる。〔読工〕  
 文章全体の大まかな構成と、それぞれの部分の役割を理解することができる。〔言オ(ア)〕

時	学習指導目標	主な学習活動	指導の重点	具体的評価規準(Bの具体的な姿)	使用シート
1	全文を読んで大まかな内容をつかみ、読みのめあてをもつことができる。	1 題名から、文章の内容を予想する。 2 全文を読み、おおまかな内容を確認する。 3 初発の感想をもち学習の見直しをもつ。	<考えを明確にする> ・説明内容について、「わかったこと」「よくわからなかったこと」「疑問に思ったこと」などを明確にする。 ・今まで学習した説明文と比べ、「筆者の工夫」と感じられる部分を明確にする。 ・筆者の主張を予想し、初めの考えを持つ。	〔関〕疑問や気づきをもとに、初発の考えをもち興味を持って文章を読むとしている。	考明 - 初め説明文について初めの感想をもつことができる。
2	ロボットと生き物のイヌの違いから、生き物の「外とのつながり」について特徴をまとめることができる。	1 題名と問題提示文から「つながり」という観点で生き物の特徴をさぐっていくことを確認する。 2 ロボットのイヌと本物のイヌの違いから生き物の特徴をまとめる。 3 生き物の特徴をまとめ、2～4段落のまとまりと、5・6段落の構成の違いに気づく。	<取り出す> <解釈する> ・「つながり」という観点で「ロボットのイヌ」と「本物のイヌ」のを比べながら生き物の特徴を取り出し、整理する。 ・「ロボットのイヌ」と「本物のイヌ」の比較により生き物の特徴を際立たせている筆者の表現の工夫をとらえる。	〔読ウ〕ロボットと生き物のイヌの違いから生き物の特徴をまとめている。	取解 - 段落相互の関係をおさえ、1～4段落の要点をとらえる。
3	生き物の「一つの固体としてのつながり」「長い時間の中での過去の生き物たちとのつながり」について特徴をまとめることができる。	1 5・6の段落から生き物の特徴についてまとめる。 2 2～6段落の説明を7段落でまとめている構成をとらえる。 3 文章中に「あなた」という言葉を用いて人間の話を盛り込んでいる理由を考える。	<取り出す> <解釈する> ・5・6の段落から生き物の特徴を取り出し、整理する。 ・生き物について、「チロ」と「あなた」により説明されていることをとらえる。 ・「あなた」という言葉を使うことにより話題を自分たちの問題に近づけようとしている筆者の表現の工夫をとらえる。	〔読ウ〕自分たち人間も生き物であるということに気づき、生き物の特徴をまとめている。	取解 - 七段落との関係をおさえ、5～6段落の要点をとらえる。
4	生き物の特徴と筆者の主張にふれ、文章全体を短くまとめることができる。	1 問いかけの文に着目して最終段落の役割について考える。 2 文章全体を通して要約文を考える。	<取り出す> <解釈> ・問いかけの文に着目し、筆者の主張をとらえる。 ・文章全体の要旨をとらえ、筆者が読み手に考えて欲しいと願っていることを推測する。	〔読ウ〕生き物の特徴と筆者の主張にふれ、文章全体を短くまとめている。	取解 - 生き物の特徴をふまえ、要旨をとらえる。
5	筆者の主張について自分の考えを明確にすることができる。	1 「気持ちになりませんか」「思えてきませんか」といった筆者の同意を求める表現に対する自分の答えを考える。 2 筆者の主張に対する自分の考えを記述する。	<考えを明確にする> ・問いかけの文に対する自分の答えを考えながら、「筆者の主張」について自分の考えを明確にする。	〔読工〕筆者の主張について自分の考えをまとめている。	考明 - 筆者の主張について自分の考えを明確にする。
6	筆者の主張について自分の考えを深めることができる。	1 筆者の主張に対する自分の考えを紹介する。 2 友達の考えを聞き、自分の考えとの共通点や相違点を明確にする。	<考えを明確にする> ・自分の考えと比べながら、筆者の主張に対する考えを交流し、自分の考えを深める。	〔読工〕筆者の主張について自分の考えを深めている。	考明 - 筆者の主張について自分の考えを深める。
7	文章の読みをふり返り、筆者や筆者の述べた内容に関心を持つことができる。	1 学習を通して深めることができた事項を確認する。 2 文章について考えを記述する。	<考えを明確にする> ・学習を通して深めた内容をふり返り、考えを記述する。	〔関〕文章の内容に関連する事柄に関心を持ち、筆者の工夫に触れながら感想を記述している。	考明 - おわり学習を通して感じたことを記述する。

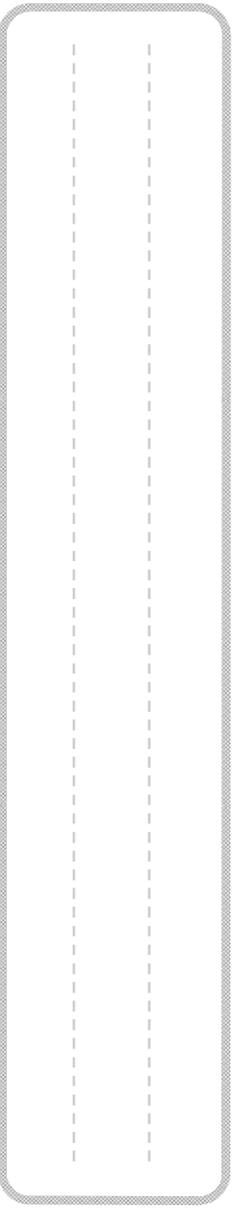


組 番・氏名

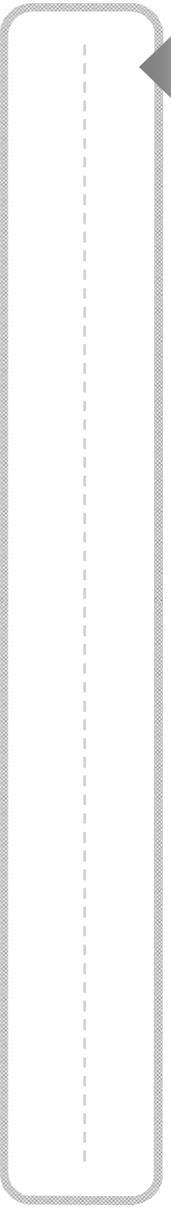
文章を読んで、わかったことや疑問に思ったことはどんなことですか。



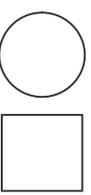
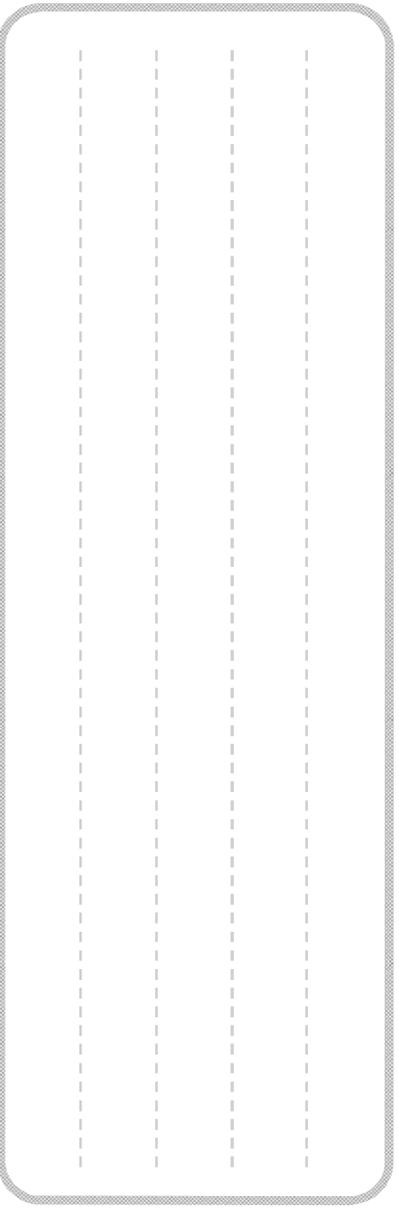
中村さんが、この文章で私たちに考えてほしいと願っていることはどんなこと  
でしよう。



このことについて、あなたはどのように考えますか。



この文章で、中村さんが工夫していると感じたのはどんなことですか。



『生き物はつながりの中に』 中村 桂子

組 番・氏名

読み取りながら、気づいたことや感じたことをメモしましょう。

その他			筆者の工夫			文章の内容						ポイント No
						主張について			説明内容について			
その他(学習の進め方など)	説明内容と関連すること ・知っていること ・感じたこと など	筆者について ・知っていること ・感じたこと など	題名について感じたこと	説明の工夫について感じたこと ・言葉の使い方 ・図、表、写真、 さし絵の使い方 など	構成の工夫について感じたこと ・序論、本論、結論	納得できないこと	なるほどと思うこと	筆者の主張	もっと知りたい、 調べたいと思ったこと	疑問に思ったこと	わかったこと	①
正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	②
正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	③

組 番・氏名

ロボットのイヌと本物のイヌのちがいを考えながら生き物の特徴について  
 まとめてましょ。 ^解1v

四の段落	三の段落	二の段落	段落 対象
			ロボットのイヌ
			本物のイヌ
			生き物の特徴

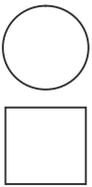
↓ ↓ ↓

七の段落では

学習をふり返って

-----

-----



組 番・氏名

ロボットのイヌと本物のイヌのちがいを考えながら生き物の特徴について  
 まとめてみましょう。

△解1▽

四の段落	三の段落	二の段落	段落 対象
<ul style="list-style-type: none"> <li>電池がイヌの体に変わることはない</li> <li>電池は電池</li> <li>ロボットはロボット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸：しない</li> <li>食べたり飲んだり：しない</li> <li>外から電池を入れ、なくなったら交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸</li> <li>酸素を吸って</li> <li>二酸化炭素をはく</li> <li>えさを食べ、水を飲んでおしっこやうんちを外に出す。</li> </ul>	ロボットのイヌ  本物のイヌ
<ul style="list-style-type: none"> <li>とり肉を食べると、イヌの体を作るたんぱく質に組みかえられる</li> <li>*あなたが食べたがた肉は、あなたの体を作るたんぱく質に変わって、あなたの一部として働く</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>外から必要なものを取り入れ、(酸素、食べ物、飲み物)内から不要なものを出して、(二酸化炭素、うんち)内と外とで物質のやり取りをしている。</li> </ul>	生き物の特徴

七の段落では 外の世界とつながり

学習をふり返って

本時の学習を通して、分かったことや感じたことを文章で記述させる。比較して述べることの効果等に触れたものは、学習のまとめとして活用することができる。

😊 よくがんばった	😊 よくわかった
😊 どちらかというどがんばった	😊 どちらかというどわかった
😐 どちらかというどがんばりがたりなかった	😐 どちらかというどわからなかった
😞 がんばりがたりなかった	😞 わからなかった

には本時の  
 がんばりの状況、  
 には本時の理解度を  
 自己評価させる。  
 指導改善のための資料として活用することができる。



組 番・氏名

生き物の特徴についてまとめましょう。

△解1▽

段落	対象
六の段落	ロボット
五の段落	チロ、あなた
六の段落	生き物の特徴
五の段落	生き物の特徴

六の段落

- だれかが組み立てて作った。
- 子孫を残すことはできない。

五の段落

- 変化や成長はない。

六の段落

- 母から生まれた。
- 両親もその両親から生まれた。

五の段落

- 身長も体重も 考えることもずいぶん変わった。
- 体を作る物質も同じではない。
- 一生を通じてつながっている。

七の段落では  
長い時間の過去の生き物たちとのつながり

七の段落では  
一つの固体としてのつながり

文章全体の構成をまとめましょう。

△解2・3▽



学習をふり返って

本時の学習を通して、分かったことや感じたことを文章で記述させる。七の段落で二、三、四、五、六の段落をまとめることの効果等に触れたものは、学習のまとめとして活用することができる。

よくがんばった	よくわかった
どちらかというとがんばった	どちらかというとわかった
どちらかというとがんばり足りなかった	どちらかというとわからなかった
がんばり足りなかった	わからなかった

には本時の  
 がんばりの状況、  
 には本時の理解度を  
 自己評価させる。  
 指導改善のための資料として活用することができる。

『生き物はつながりの中に』 中村 桂子

組 番・氏名

筆者は、私たちにどんなことを考えてほしいと願っているのでしょうか。

＜解5＞

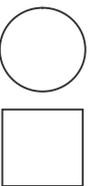
八の段落の二つの問いかけの文を、「私は」として書き出して、書きかえましょう。

生き物である私たちはどうなつながら生きていこうと願っていますか。

中村さんの考えを詳しく書いてみましょう。

学習シートを使って

Blank writing area with dashed lines.



組 番・氏名

筆者は、私たちにどんなことを考えてほしいと願っているのでしょうか。

△解5▽

八の段落の二つの問いかけの文を「私は」という書き出しで、書きかえましょう。

・私は、自分を大切にすること  
と他を大切にすることは同じ  
だという気持ちになります。  
・私は、今、あなたが生き物として  
生きているということ  
が、とてもすてきなことに思  
えてきます。

生き物である私たちはどんなつ  
ながりをもっているのでしょうか。

・外の世界とのつながり  
(水や空気、大勢の人々や生き物)  
・一つの固体としてのつながり  
(今日もあなた、明日もあなた、  
たった二つのかけがえない存在)  
・長い時間の中での過去や未  
来とのつながり

中村さんの考えをまとめましょう。

生き物である人間も、たった一つのかけがえのない存  
在であり自分以外のすべてのものとのつながっている。生  
き物としてすべてのものとのつながりながら生きること  
は、すばらしいことである。

学習をふり返って

本時の学習を通して、分かったことや感じたことを文  
章で記述させる。問いかけの文章で主張を述べることの  
効果等に触れたものは、学習のまとめとして活用するこ  
とができる。

	よくがんばった		よくわかった
	どちらかという がんばった		どちらかという わかった
	どちらかという がんばりが たりなかった		どちらかという わからなかった
	がんばりが たりなかった		わからなかった

には本時の  
がんばりの状況、  
には本時の理解度を  
自己評価させる。  
指導改善のための資料と  
して活用することができる。

『生き物はつながりの中に』 中村 桂子

組 番・氏名

筆者が考えてほしいと願っていることについて自分の考えをまとめよう。

>考明4<

中村さんの考えは...

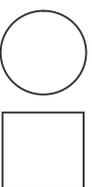
文章中のことな部分から...

あなたの考えは...

どうなるかな...

学習を振り返って

学習を振り返って



組 番・氏名

筆者が考えてほしいと願っていることについて自分の考えを深めましょう。

▶考明4<

自分と似ていて、「ななほほー」

「ななほほー」のために  
 確かめよう。

正

自分とちがうけれど、「ななほほー」

筆者の願い

正

自分とちがうけれど、「ななほほー」

自分の考え

正

自分とちがうけれど、「ななほほー」

願いと考えの  
 関連

正

自分とちがうけれど、「ななほほー」

例の内容

正

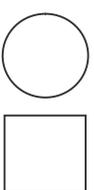
自分とちがうけれど、「ななほほー」

例と『生き物の  
 つながり』の関  
 連

正

その他（気づいたことや新たに考えたこと など）

学習を振り返って



『生き物はつながりの中に』 中村 桂子

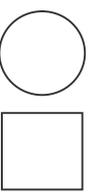
組 番・氏名

中村さんが、この文章で私たちに考えてほしいと願っていることはどんなことでしょうか。そのことについて、あなたはどのように考えますか。

Blank writing area with horizontal dashed lines.

中村さんは、説明のためにどんな工夫しているでしょうか。その工夫についてあなたはどのように考えますか。

Blank writing area with horizontal dashed lines.



シートの活用目的

文章を読み、初めに感じたことを記述することにより、読みの課題を明確にする。

使用のポイント

「生き物はつながりの中に」を通読し、考明シート初に感想を記述させる。

記述をもとに、グループで感想を交流する。

- ・わかったことは？
- ・疑問に感じたことは？
- ・筆者の工夫を感じたところは？

友だちが疑問に思ったことなどについて、考えたことや情報を伝え合おう。  
 ・それは、こんなことを表しているのではないか。  
 ・私は、こんなことを知っている。

感想を全体で紹介し合い、読みの課題につなげていく。

- ・ロボットの犬と本物の犬は、似ているようだけど、ちがう。
- ・生き物は、外から取り入れたものが自分の一部になる。
- ・生き物は、変化して成長している。
- ・生き物は、長い歴史の中でつながっている。
- ・生き物は、全てのものをつながっている。
- ・生き物として生きることが、なぜすばらしいのだろう。

中村さんは、ロボット本物のイヌを比べながら、私たちにどんなことを分かって欲しかったのだろう。

- \* 児童の記述状況を下記のチェック観点一覧により分類しながら把握（座席表などに記録）しておく、後の授業で発言を促す時などに活用することができる。
- \* 児童自身もどんな点について記述することができたか確認できるよう、記述できた観点について No を示してシートを返却するとよい。児童にもチェック表を配布し、記述できた観点をチェックさせる。チェック表には、学習を通して気づいたことなどを随時メモさせるようにする。

感想チェック表

その他		筆者の工夫				文章の内容				ポイント		
						主張について		説明内容について				
その他（学習の進め方など）	説明内容と関連すること ・知っていること ・感じたこと など	筆者について ・知っていること ・感じたこと など	題名について感じたこと	説明の工夫について感じたこと ・言葉の使い方 ・図、表、写真、さし絵の使い方など	構成の工夫について感じたこと ・序論、本論、結論	納得できないこと	なるほどと思うこと	筆者の主張	もっと知りたい、調べたいと思ったこと	疑問に思ったこと	わかったこと	No
												具体的内容
初読の感想で、記述できた観点を「正」でカウントしながらチェックする。											正	初
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;">記述できた観点の変容を単元の終末で確認</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 40%;">メモ欄には、学習を進めながらわかったことなどを記述する。</div> </div>												がら、メモ
終わりの感想で、記述できた観点を「正」でカウントしながらチェックする											正	後

シートの活用目的

筆者の主張について自分の考えを明確にすることにより、筆者の願いに迫る。

使用のポイント

「生き物はつながりの中に」を通して伝わる、中村さんの主張について自分が考えたことを考明シートに記述する。

**分析リスト** を用い、児童の記述状況を把握する。記述の進まない児童には、以下の点を確認しながら記述を促す。

- ▶ レベル1と判断した児童に対して
  - ・生き物として生きることは、素敵だ。
  - ・自他の命を大切にしたい。

2つの問いかけの文から、中村さんのどんな主張が伝わるだろう。

- ▶ レベル2と判断した児童に対して
  - ・私も生き物として生きることは、素敵だと思う。
  - ・自分を大切にすることと他を大切にすることは、同じだと思う。
  - ・自分は、生き物として生きているが、そのことが素敵だと思えない。

問いかけに対して、自分ならどのように答えるだろう。

- ▶ レベル3と判断した児童に対して
  - ・生き物として生きることが素敵だと感じたことがあるか。
  - ・自分を大切にしなければならないと思ったことはあるか。
  - ・他を大切にしなければならないと思ったことはあるか。
  - ・自分や他の命を大切にしているとは思えないような出来事はないか。

自分の経験から、答えの理由を考えてみよう。

分析リスト...シートの記述例...

考明レベル	レベル1			
	レベル2		レベル3	
	レベル4			
	記述観点	筆者の考えをとらえた部分を記述している。	筆者の考えを記述している。	筆者の考えについて自分の考えを記述している。
記述例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そして、今、あなたが生き物として生きているということが、とてもすてきなことに思えてきませんか。</li> <li>・そう考えると自分を大切にすることと他を大切にすることは同じことだという気持ちになりませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなつながりをもつ生き物として生きることはすてきなことだ。</li> <li>・生き物としてさまざまなつながりをもっている私たちが、自分を大切にすることは他を大切にすることにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私もさまざまなつながりをもつ生き物として生きることは、すてきですばらしいことだと思った。</li> <li>・生き物として生きることがすてきなことは分かるけれど、生き物だけで生きることがいいとは思わない。</li> <li>・私も生き物としてたくさんのつながりをもっている自分を大切にすることと他を大切にすることは同じことだという気持ちになった。</li> <li>・自分を大切にすることと他を大切にすることが同じというのはそうかもしれないが、自分を大切にすることは他を大切にすることはならないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、今まで過去の生き物とつながっているなんて考えたことはなかったが、過去の生き物とのつながりがあることを知り、長い歴史の中で生き物として生きている自分を大切にしたいと思った。</li> <li>・今、私たちの周りでは、ロボットが生活の役にたっている。それらは、生き物としてつながっているわけではないが、生活に欠かせないものになっているので、仲良く生きていきたい。</li> <li>・自分の命を絶つ人や他人の命をうばう人のニュース等を見ると自分や他を大切にしているとは思えない。生き物として、自分や他の人の命をもっと大事して、生きていかなければいけないと思う。</li> </ul>

指導事項リストB 森へ -

場面	取り出す (み...見えるもの き...聞こえるもの ふ...触った感じ)	解釈する	考えを明確にする	
入り江の奥	<ul style="list-style-type: none"> <li>み 朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえって...</li> <li>き 聞...カヤックのオールが、水を切る音...</li> <li>ふ 少し風...</li> <li>み 白い太陽が、ぼうっと現れては、消えて...ゆっくりと、きりが動いて...</li> <li>み オールを止めると...カヤックは、鏡のような水面を.....ミルク色の世界の中で...</li> <li>み きりの切れ目から、...ぼんやり見えています。</li> </ul>	取15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな感覚をつかって表現している</li> <li>・筆者の表現の工夫をとらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の工夫について自分の考えを明確にする</li> <li>考明7</li> </ul>
ザトウクジラとの出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>き ビロロロロ -。ハクトウワシの...</li> <li>き ポチャン と、一びきのサケが...。谷間から、...わたってきます。</li> <li>み きりは、絶えず形を変えながら...</li> <li>ふ 水面を流れるきりは、...しっとりぬらしました。</li> <li>き その時...。シューツ、シューツ、シューツ。</li> <li>み とつぜん、きりの中からすうっと巨大な黒いかげが...。ザトウクジラ。</li> <li>・広い...クジラが、どうしてこんな所にいるのだろう。</li> <li>み やがて、クジラは.....ゆっくりときりの中に消えてゆきました。</li> <li>み 深い森の木々が.....しだいに近づいてきました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・森や樹木を人間のよう表現している</li> <li>・筆者の表現の工夫をとらえる</li> </ul>	
森への進入	<ul style="list-style-type: none"> <li>き パサツ、パサツ。</li> <li>み ぶいにハクトウワシが...ゆきました。</li> <li>み やがて、...森は、...せまっていました。</li> <li>・見上げるような巨木や.....ぼくがこの森に入ることをこぼんでいるようでした。</li> <li>み はまべに沿って.....気がつきました。...人の住む場所とは、遠くはなれた世界です。</li> <li>み 巨木の間をぬけ、...暗くなりました。目が慣れてくると、.....見え始めました。</li> <li>み 見わたすかぎりの木々が、.....びっしりと緑のコケにおおわれているのです。</li> <li>み ささまざまな地衣類が.....そのまま歩き出しそうな気配でした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物について自分の考えを明確にする</li> <li>考明5</li> </ul>	
クマの足音の発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>み ぼくが立っている地面は、.....続いていました。</li> <li>み 土の上に残された大きな足あとを見たとき、...。...クマの道...。...気がしました。</li> <li>・今にもクマがやってきそうな気がしました。</li> <li>・ぼくはクマの道をたどり、森に入ってゆくことに決めました。</li> </ul>			
気味悪い大木の発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>み 木々やコケ、そして岩や倒木までが...一つの生き物のように呼吸しているようでした。</li> <li>・森の木々が、じっとぼくを見つめているような気がしました。</li> <li>み とときどき、気味の悪い大木...穴が空いているのです。</li> <li>・辺りをゆっくりと...小さな音にも.....だんだん不思議な気持ちになってきました。</li> <li>・いつの間にか、.....クマの目になって、.....ながめているみたいなのです。</li> <li>・心が静まるにつれ、森は少しずつぼくにやさしくなってくるようでした。</li> <li>・「もしクマが.....そっと道をゆずってやれはいいのだ。」.....始めてました。</li> </ul>	【取解シート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章のテーマをとらえる</li> <li>解10</li> </ul>	
クマのふんの発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>み ぶと気がつくと、...それはクマの古いふんでした。</li> <li>み おどろいたことに...。あんまりきれいなので、...近づけてみました。</li> <li>・いつか幼稚園のソンドラで見た...思い出しました。厳しい自然では、.....むだにはならないのです。</li> <li>み クマの道は、しだいに分かれ道が多くなり.....消えてゆくようでした。</li> <li>み 倒木の道には、...アカリスがトウヒの実を食べたからが積まれて...</li> <li>・今度は、森のリスになったような気分で、.....歩きました。</li> </ul>	【取解シート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の心の動きをとらえる</li> <li>解11</li> </ul>	
クマの世界の目撃	<ul style="list-style-type: none"> <li>き 水の音が聞こえてきました。</li> <li>み しばらくすると、...黒くしずんで見えました。</li> <li>み 水を飲もうと...。川底の色.....サケの大群だったので。</li> <li>ふ 静かに手を水の中に入れ...なんと、強い力...飛びぬけてゆくののです。</li> <li>・もうおもしろくて....。ぼくは、.....何度も同じことをくり返しました。</li> <li>み ぶっと前を見ると、...クマの親子が、じっとぼくを見ているのではないですか。</li> <li>・ぼくは、あわてて.....。</li> <li>み すると、なんてこと...クマの世界でした。...子グマが木の上でねています。</li> <li>・どうして今まで気がつかなかった.....。</li> </ul>	取11 取13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章のテーマをとらえる</li> <li>解14</li> </ul>	
巨木の物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>み 不思議な光景に出会いました。...いるのです。</li> <li>・それは、きっとこんな物語が.....。</li> <li>・それでやっと分かりました。</li> <li>み 目の前の倒木は、...あたえ続けているようです。</li> <li>ふ ぼくは、コケむした倒木にすわり、そっと幹をなでてみました。</li> <li>・森のこわさは、すっかり消えていました。</li> <li>・じっと見つめ、耳をすませば、森はさまざまな物語を聞かせてくれるようでした。ぼくの目には見えなけれど、森はゆっくり動いているのです。</li> </ul>	【考明シート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章のテーマについて自分の考えを明確にする</li> <li>考明10</li> </ul>	

...単元指導計画表...

【単元名】読書の世界を深めよう < 13時間 >

【教材文】森へ

- 【目標】
- さまざまなジャンルの本に関心を持ち、意欲的に読む。〔関〕
  - 筆者の心の動きと場面の情景を叙述に即して読む。〔読ウ〕
  - 比喩的な表現に注目して、その効果を味わう。〔言ウ(工)〕
  - 紹介の仕方を工夫しながら読書紹介文を書く。〔書ア〕
  - クラスの友だちに薦めたい本の魅力を紹介のしかたを工夫して発表する。〔話・聞ア〕

時	学習指導目標	主な学習活動	指導の重点	具体的評価規準(Bの具体的な姿)	使用シート
1	単元全体の見通しをもつ。	1 これまでの読書経験を振り返り、本単元の学習計画を立てる。	<考えを明確にする> ・「森へ」を読んだ印象や感想を記述し、読み深めていきたいことを明確にする。	〔関〕自分の経験や感想を発表し合うことを通して、読書の世界を深めようとしている。	考明 - 初め文章について感想をもつ。
2	表現に着目し、場面の様子を想像することができる。	1 表現に着目し、自分の好きな場面の様子を想像する。 2 選んだ場面を紹介しあい、想像を広げる。	<取り出し> <解釈> ・五感を働かせ、様子を想像することができる表現を取り出す。 ・取り出した表現を根拠に様子を想像する。	〔言ウ(工)〕表現に着目して、様子を想像している。	取解 - 表現を取り出し、様子を想像する。
3	表現の効果について自分の考えを明確することができる。	1 森に対する筆者の思いを表すための表現を本文から探し、紹介し合う。	<考えを明確にする> ・森に対する筆者の気持ちが表れる表現を取り出す。 ・筆者の気持ちを表すために効果があるのか自分の考えを明確にする。	〔読ウ〕効果的な表現について、自分の考えを明確にしている。	考明 - 表現の効果について自分の考えを明確にする。
4	テーマについて、自分の考えをもつことができる。	1 「森へ」を読んで、どんなテーマで考えていきたいか出し合う。 2 自分の選んだテーマについて考えたことをまとめる。	<考えを明確にする> ・文章からとらえられるテーマについて出し合う。 ・テーマを決め、自分の考えをまとめる。	〔読ウ〕自分で決めたテーマについて自分の考えを明確にしている。	考明 - 文章のテーマについて自分の考えを明確にする。
5	テーマについて、自分の考えを深めることができる。	1 同じテーマを選んだグループで話し合い、自分の考えを深める。	<考えを明確にする> ・同じテーマのグループで、一人一人の考えを発表する。 ・発表についてさらに知りたいことを確かめあい、自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を明確にする。	〔読ウ〕友だちの発表を聞き、共通点や相違点を確認しながら自分の考えを深めている。	考明 - 発表を聞き自分の考えを深める。
6	文章の読みをふり返し、さまざまな表現形式の文章に関心を持つことができる。	1 学習を通して深めることができた事項を確認する。 2 文章について感想を記述する。	<考えを明確にする> ・学習を通して読み深めた内容をふり返し、感想を記述する。	〔関〕文章の内容や書き手の工夫に触れながら感想を記述し、今後の読書活動に目標を持って取り組もうとしている。	考明 - 終わり学習を通して感じたことを記述する。
7	自分が読みたい本を考え、読書発表会に向けた取組への見通しをもつ。	1 「本は友達」を読み読書発表会の持ち方を確認する。 2 自分の読みたい本について、要望を出し合う。	・「いろいろな本を読もう」で、紹介されている本を取り出し、その本の内容をとらえる。 ・本からのおくり物とはどんなものか、とらえる。 ・どんな本を読んでみたいか、自分の考えを紹介する。	〔関〕友達の要望に応えるため、読書発表会に向け積極的に準備しようとしている。	
8 ・ 9	友達の要望に応える本を選んで集め、読書カードを書くことができる。	1 自分が、どんな要望に応えていくか決め、紹介する本を探す。 2 自分が紹介する本を読み紹介文を書く。	・応える要望に応じて本を選び、読み進める。 ・本のあらすじ、おすすめポイント等をまとめて紹介文を書く。 ・同じ要望に応える人でグループを作り、紹介の仕方を考える。	〔書ア〕友達の要望に応えるため、自分が読んだ作品について、紹介文を書くことができる。	
10 ・ 11	友達の要望に応えるため、紹介文を書くことができる。	1 グループで相談し、紹介の仕方を決める。 2 紹介の仕方に沿って、紹介文を書く	・グループで決めた紹介の仕方に沿って、自分の薦めたい本の内容をとらえる。 ・とらえた内容について、自分の考えを記述しながら紹介文を書く。	〔書ア〕グループで決めた紹介の仕方に応じて、読んだ作品についての紹介文を書くことができる。	
12 ・ 13	紹介の仕方を工夫して、友達に薦めたい本を紹介することができる。	1 読書発表会を開き感想を交流する。 2 学習全体を振り返る。	・友達の紹介から、興味のわいた本について考えをまとめることができる。	〔話・聞ア〕紹介の仕方を工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。	



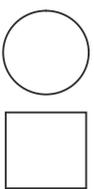
組 番・氏名

「森へ」を読んで、どんなことを感じましたか。どんなことが心に残りましたか。

Large writing area with 10 vertical dashed lines for notes.

…学習をくり返して

Small writing area with 2 vertical dashed lines.



『森へ』 星野 道夫

組 番・氏名

読み取りながら、気づいたことや感じたことをメモしましょう。

その他			筆者の工夫			文章の内容					ポイント	
						テーマについて		ストーリーについて				
											No	具 体 的 な 内 容
その他 ・気になった言葉や項目 ・学習でがんばりたいこと など	文章の内容について ・知っていること など	筆者について ・筆者について知っている こと ・筆者の別の文章を読んだ 経験 など	題名の工夫	表現の工夫 ・情景描写 ・登場人物の 行動の描写 など	ストーリーの 展開や構成の工夫	納得できないこと	なるほどと思うこと	こんなテーマ	不思議に思ったこと	心に残ったこと ・感動した場面 ・登場人物の行動 など	初	学習を進めながら、メモ
正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	後	

組 番・氏名

あなたが気に入った場面を紹介しましょう。

△取解15▽

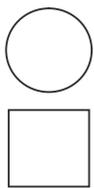
場面

この場面のどんなところが気に入りましたか。

気に入った理由（文章や写真から想像した森の様子など）

友だちの紹介を聞きながら、森の様子を想像することができる表現を  
書きとめましょう。

…学習をふり返って…



組 番・氏名

あなたが気に入った場面を紹介しましょう。

△取解15▽

## 巨木の世界

場面

この場面のどんなところが気に入りましたか。

気に入った理由（文章や写真から想像した森の様子など）  
「年老いて死んでしまった倒木が、新しい木々を育てたのです。」「ぼくの目には見えなけれど、森はゆっくり動いているのでした。」という表現や倒木を写した写真が気に入った。倒木が本当に新しい木に栄養を送っているのが分かったし、本当に森は助け合っていて生き物はつながりあっていると感じられたからだ。

友だちの紹介を聞きながら、森の様子を想像することができる表現を書きとめましょう。

・ふんにキノコが生えている写真や、「少しの栄養もむだにできない」という表現から、小さなこともむだにしないで生き物みんなが必死に生きるきびしい世界を想像した。

…学習をふり返って…

本時の学習を通して、分かったことや感じたことを文章で記述させる。音や色を多用した文章や写真を使った表現の工夫に触れたものは、学習のまとめとして活用することができる。

 よくがんばった	 よくわかった
 どちらかというがんばった	 どちらかというわかった
 どちらかというがんばりがたりなかった	 どちらかというわからなかった
 がんばりがたりなかった	 わからなかった

には本時の  
がんばりの状況、  
には本時の理解度を自己評価させる。  
指導改善のための資料として活用することができる。

組 番・氏名

星野さんの森に対する気持ちが表れる表現について考えましょう。

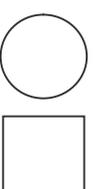
^考明7<

どんな表現から…

どんな気持ちが…

このような表現について、あなたはどのように考えますか。

…学習をふり返って…



組 番・氏名

選んだテーマについて自分の考えをまとめましょう。

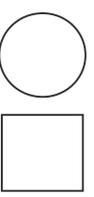
^考明10<

あなたの選んだテーマは…

このテーマを選んだ理由は…

選んだテーマについて、「森へ」を通して考えたことをまとめましょう。

…学習を振り返って…



組 番・氏名

テーマについて自分の考えを深めましょう。

△考明 10 △

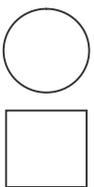
自分と似ていて、「」なるほど！

自分とちがうけれど、「」なるほど！

その他（気づいたことや新たに考えたこと など）

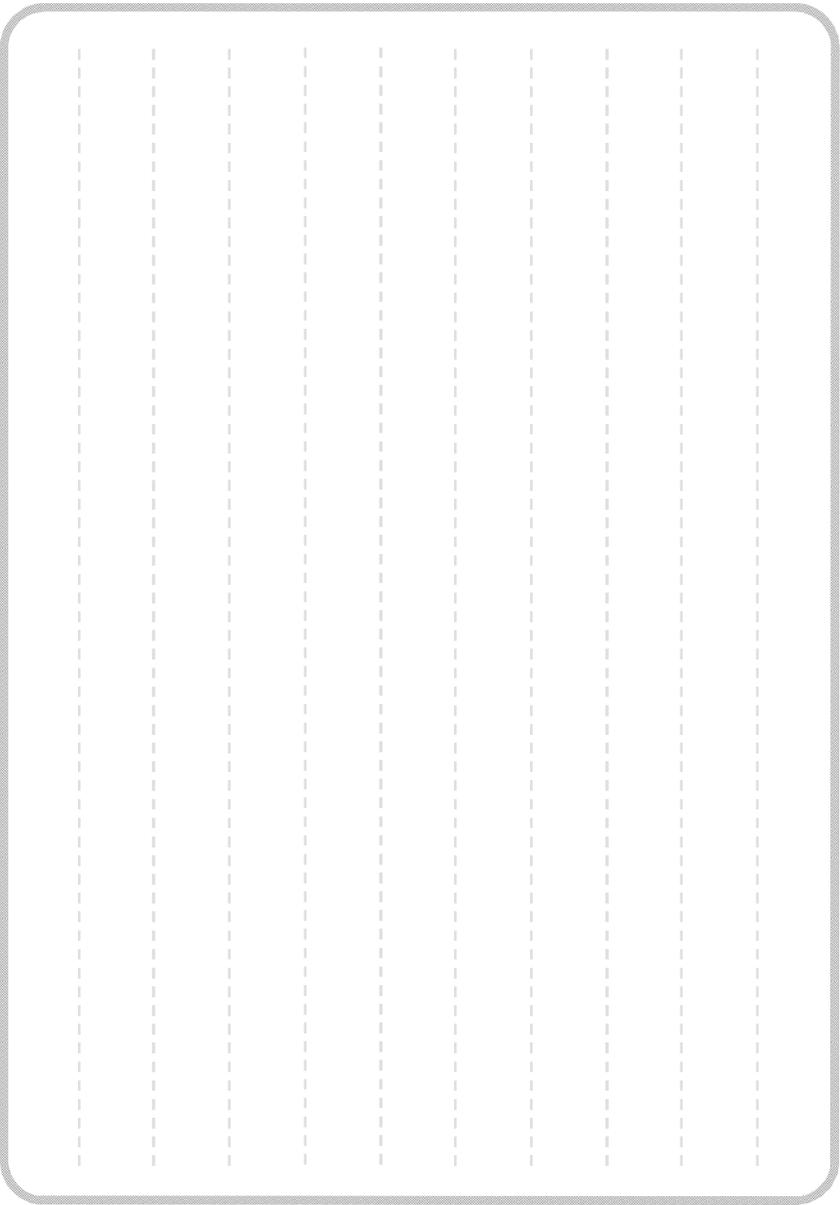
…学習内容を振り返って…

5	4	3	2	1	「」なるほど！「」のために 確かめよう。
テーマと文章の 関連について	テーマに対する 自分の考えに ついて	テーマと理由の 関連について	テーマ決定の 理由について	気になる言葉 について	
正	正	正	正	正	質問できた 回数を チェック！

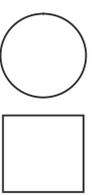
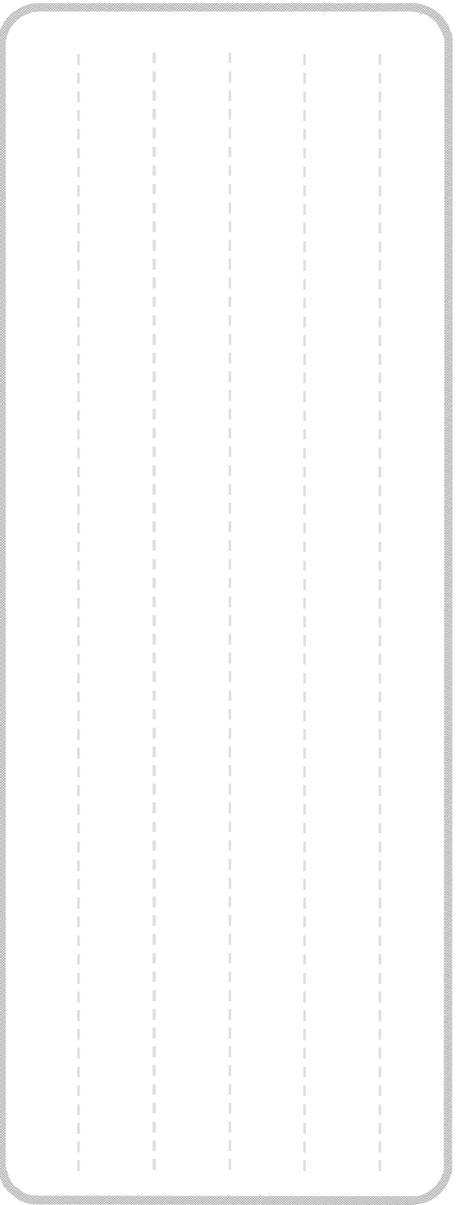


組 番・氏名

あなたは、この文章を読んでどんなことを考えましたか。テーマをしばって考えをまとめてみましょう。



星野さんは、この文章でどんな工夫をしていらっしゃるでしょう。その工夫についてあなたはどのように考えますか。



シートの活用目的

文章を読み、初めに感じたことを記述することにより、読みの課題を明確にする。

使用のポイント

「森へ」を通読し、考明シート初に感想を記述させる。

記述をもとに、グループで感想を交流する。

- ・心に残ったことは？
- ・不思議に感じたことは？
- ・筆者の工夫を感じたところは？

友だちが疑問に思ったことなどについて、考えたことや情報を伝え合おう。  
 ・それは、こんなことを表しているのではないか。  
 ・私は、こんなことを知っている。

感想を全体で紹介し合い、読みの課題につなげていく。

- ・森の中の音や色などの表現が素敵だ。
- ・森自体が、生きているようだ。
- ・クマのふんがきのこの栄養になるなんてすごい。
- ・森は、助け合ってみんなつながっている。
- ・写真がきれいだった。行ってみたいくなる。
- ・写真があって、筆者の伝えたい森の様子がよくわかる。

星野さんは、森でどんなことを感じたのだろう。私たちにどんなことを伝えたかったのだろう。

- \* 児童の記述状況を下記のチェック観点一覧により分類しながら把握（座席表などに記録）しておくとし、後の授業で発言を促す時などに活用することができる。
- \* 児童自身もどんな点について記述することができたか確認できるよう、記述できた観点についてNoを示してシートを返却するとよい。児童にもチェック表を配布し、記述できた観点をチェックさせる。チェック表には、学習を通して気づいたことなどを随時メモさせるようにする。

感想チェック表

その他		筆者の工夫			文章の内容				ポイント			
					テーマについて		ストーリーについて					
その他 ・気になった言葉や項目 ・学習でがんばりたいこと など	文章の内容について ・知っていること など	筆者の別の文章を読んだ 経験 など	題名の工夫	表現の工夫 ・情景描写 ・登場人物の 行動の描写 など	ストーリーの 展開や構成の工夫	納得できないこと	なるほどと思うこと	こんなテーマ	不思議に思ったこと	心に残ったこと ・感動した場面 ・登場人物の行動 など	No	具 体 的 な 内 容
											初読の感想で、記述できた観点を「正」でカウントしながらチェックする。	
記述できた観点の変容を単元の終末で確認										後 が ら メ モ		
メモ欄には、学習を進めながらわかったことなどを記述する。											正	後
終わりの感想で、記述できた観点を「正」でカウントしながらチェックする。										正	後	

シートの活用目的

表現の効果について自分の考えを明確にすることにより、筆者の森に対する気持ちに迫る。

使用のポイント

森に対する筆者の気持ちの表れる文章を取り出し、その文章から伝わってくる筆者の気持ち、表現の効果について、考明シート に記述する。

**分析リスト** を用い、児童の記述状況を把握する。記述の進まない児童には、以下の点を確認しながら記述を促す。

- ▶ レベル1と判断した児童に対して
  - ・ やっとたどり着いた森に入っていくのが楽しみのよう。
  - ・ 見知らぬ森に入っていくのが不安そう。
  - ・ 森の素晴らしさに感動している。

場面毎の森に対する星野さんの気持ちは、どう変わってきただろう。どの部分から伝わってくるだろう。

- ▶ レベル2と判断した児童に対して
  - ・ 森の様子や星野さんの気持ちが想像できて、よい表現だと思う。
  - ・ 森は、感情は持たないはずだが、森の気持ちが伝わってくるような表現ですばらしい。

星野さんの工夫は、自分にとって森の様子や星野さんの気持ちを想像しやすい表現か。

- ▶ レベル3と判断した児童に対して
  - ・ 「こばむ」とは、人間が何かを拒否している感じ。
  - ・ ただの「種子」ではなく「幸運な種子」と表現しているのは、星野さんが森の木々を大切に思う気持ちの表れでは。

森や動物たちの表現から、星野さんのどんな気持ちが伝わってくるだろう。

分析リスト...シートの記述例...

考明レベル	レベル1			
	レベル2		レベル3	
	レベル4			
	記述観点	記述例	記述例	記述例
	筆者の気持ちの表れる記述を見つけて示している。	筆者の気持ちを推測し、記述している。	筆者の気持ちを表すために筆者の工夫は、効果的かどうか記述している。	経験や知識をもとに具体例を挙げて表現の効果について説明している。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見上げるような巨木や、その間にびっしりとおいしげる樹木が、ぼくがこの森に入ることこぼんでいるようでした。</li> <li>・ 長い年月の間に、その幹の上に落ちた幸運なトウヒの種子たちがいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やっとたどりついた森でどんなものに出会えるか楽しみなのに、なんだか見知らぬ森に入っていくのは、やっぱり不安だ。</li> <li>・ 地面に横たわる古い倒木の上に育った巨木たちは、なんて幸運だったのだろう。倒木の栄養のおかげでトウヒの種子から巨木に生長することができたんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物を人間のように表現する書き方は、星野さんが森を大切にしている気持ちが伝わってくるのでとても効果的な表現だと思った。</li> <li>・ 星野さんが、目の前の風景から長い長い年月を想像しているのが伝わってくるのでよい表現だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こばむ」というのは、人が入ろうとしている時に絶対に入れないようにすることだから、森が星野さんを拒否している感じが伝わったし、森が何かを考えているように感じられる。</li> <li>・ 幸運な種子たちという表現は、種子を命をつなぐ大切な物のように感じる、木々をただの植物ではなく自分たちと同じ生き物のように感じる。</li> </ul>

シートの活用目的

選んだテーマについて自分の考えを明確にすることにより、筆者の願いに迫る。

使用のポイント

「森へ」を通して、考えてみたいテーマを選び、テーマを選んだ理由・テーマについて「森へ」を通して考えたことを考明シートに記述する。

**分析リスト**を用い、児童の記述状況を把握する。記述の進まない児童には、以下の点を確認しながら記述を促す。

- ▶ レベル1と判断した児童に対して  
〔クマのふんからきのこ、死んだサケや倒木が次の命に〕  
・森は、少しの栄養もむだにできない厳しいところ。  
・森は、命をつないで生きているすばらしいところ。

心に残った場面から、どんなことを感じただろう。

- ▶ レベル2と判断した児童に対して  
・すばらしい自然を守っていききたい。  
・森のように命を大切に生きていききたい。  
・森に負けないように、人もずっと命をつなぐことが大切だと伝えたい。

選んだテーマについて、自分ができることやみんなに訴えたいことはないだろうか。

- ▶ レベル3と判断した児童に対して  
・青空キャンプで、森林の中で生活した時、気持ちが落ち着いて自然は、すばらしいと思った。  
・ニュースで森の木が切り倒されている様子を見て、人間はひどいことをすると思った。  
・新聞で、地球の緑を増やすために、木を植え育てている人を知り、すばらしいと思った。

テーマに関わって、自分の経験やニュースで聞いたことなどから考えたことはないだろうか。

分析リスト...シートの記述例...

考明レベル	レベル1			
	レベル2			
	レベル3			
	レベル4			
記述観点	自分の述べようとするテーマを選んで記述している。	テーマを選んだ理由を記述している。	テーマについて自分の考えを記述している。	経験や知識をもとに具体例を挙げて自分の考えを説明している。
記述例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然</li> <li>・命のつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星野さんの文章全体や写真を見ていて自然のことについて考えたくなったから。</li> <li>・サケがクマのえさになったり、倒木が次の樹木のための栄養になったりしていることから命のつながりを感じたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんなに近づいてくまの写真を撮ったり、森を人間のように表現したりする星野さんは、本当に自然を大切にしたい人だと思う。とても神秘的ですてきな自然を大切にしなければならなかった。</li> <li>・人間だけでなく、植物や動物も死んだものから栄養をもらって、つながりながら生きている。人間だけでなく自然の命も大切にしなければいけないと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、人間の活動の影響で温暖化の問題が起こり、自然が破壊され、動物が住みにくい地域が出てきている。すばらしい自然を守るために私たちにできることをしなければいけない。</li> <li>・前に、生き物はすべてつながっていることを学習した。森の中でも本当に命がつながっていて驚いた。私たちの命に必要な酸素を出しているのも森だ。私たちの命ともつながっている森を大切にしていきたい。</li> </ul>

実践前の児童の実態把握のため、平成二十年四月二十二日に実施した全国学力・学習状況調査の結果を用いた。実際に用いた問題は、B問題の設問 **2** **3** である。この設問と同じ形式の問題を作成し、事後の実態把握のために用いた。  
以下、実際に事後テストとして用いた問題である。

問題は、次のページから始まります。

1

大谷さんの学級では、読んだ本のしょうかいをすることになりました。大谷さんは、五年生のときに読んだ「大造じいさんとガン」の作者である椋鳩十の「片足スズメ」を読んでいます。二つの作品をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【「大造じいさんとガン」の第1場面の一部】

椋鳩十「大造じいさんとガン」一の場面の第三段落までを引用

A

一の場面、第1段落～第三段落

(椋鳩十「大造じいさんとガン」による)

【「片足のスズメ」の第1場面・第2場面の一部】

椋鳩十「片足のスズメ」一の場面及び二の場面の第八段落までを引用

A

一の場面、第八段落～第十段落

二の場面、第二段落～第八段落

(椋鳩十「片足のスズメ」による)

一 大谷さんは、「片足スズメ」の第1場面で、春がおとずれたことが分かる部分を次のメモにまとめました。

ア  の中に入るふさわしい言葉を、本文中の言葉を使い、「〜こと」で終わるよう~~に~~して書きましよう。

【メモの一部】

( 解答は、解答用紙に書きましよう。 )

○ ヤナギの花粉が、金色にちっていったこと

○ 金ぶちめがねのトノサマガエルが、二丁三日まえから、春の歌を歌いはじめたこと

○ ア

二 大谷さんは、二つの作品の第1場面のAのところでしょうかいしている登場人物について、次のメモにまとめました。

イ ・ ウ

本文中の言葉を使って書きましよう。 の中に入る登場人物の特徴について、

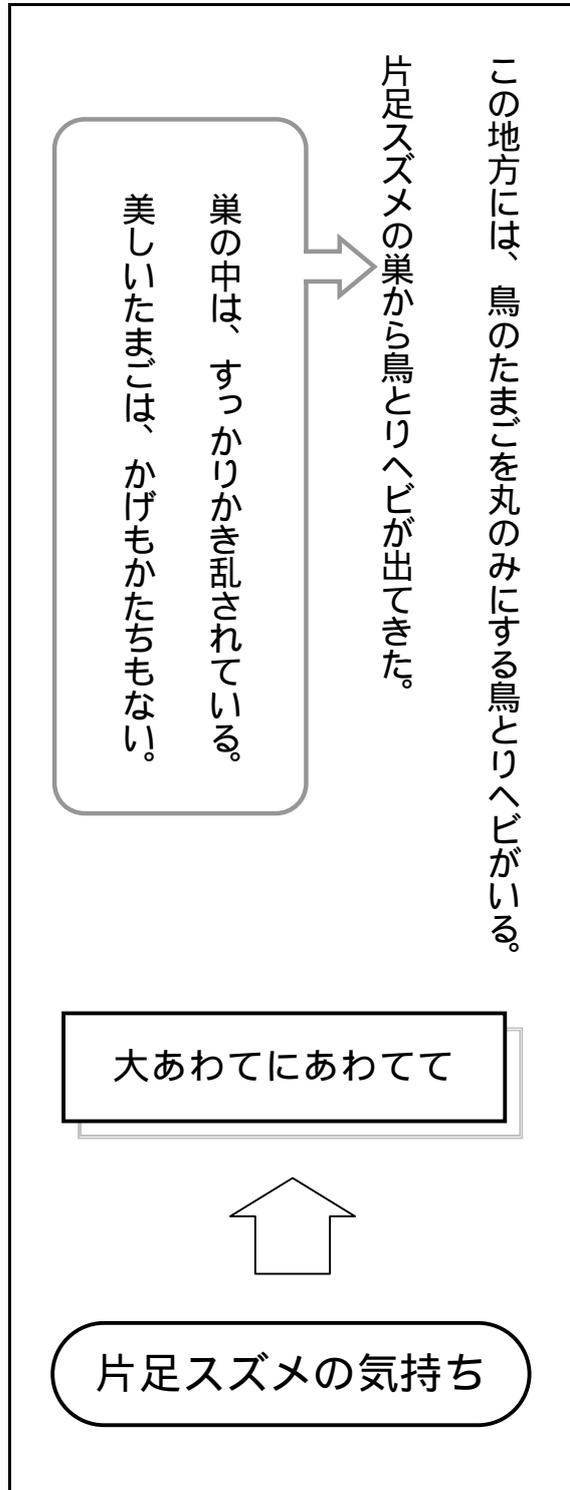
【メモの一部】

( 解答は、解答用紙に書きましよう。 )

<p>【大造じいさんとガン】の登場人物</p> <p>残雪は、毎年沼地にやってくる。</p> <p>残雪は、一羽のガンにつけられた名前である。</p> <p>残雪は、左右のつばさに一か所ずつまっ白なまじり毛をもっている。</p> <p>残雪は、かりゅうごからのよび名である。</p> <p>残雪は、</p> <p style="text-align: center;">イ</p> <p>残雪は、なかなかりこうである。</p>	<p>【片足スズメ】の登場人物</p> <p>片足スズメは、わたしの家のかやぶきのひさに巣をつくっている。</p> <p>片足スズメは、いちばん西のはしにすんでいる。</p> <p>片足スズメは、一本足である。</p> <p>片足スズメは、ちょっとぶつがわりのこのみをもっている。</p> <p>片足スズメは、</p> <p style="text-align: center;">ウ</p> <p>片足スズメは、なかなかのきんべん家である。</p>
---	---

三 大谷さんは、片足スズメの気持ちが表れている行動場面として、本文中の  
の部分为例に挙げてしようかいたします。その中で、——部の「大あわてにあわてて」には、  
片足スズメのどのような気持ちが表れていると考えられますか。次のメモをもとにし、あとの  
条件に合わせて書きましよう。

【メモの一部】



【条件】

- 「鳥とりへび」と「美しいたまご」の二つの言葉を入れて書くこと
- 四十字以上八十字以内にまとめて書くこと

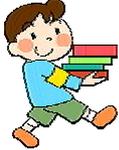


問題は、次のページに続きます。

花南市内の小学生のみなさんへ

## 図書館だより 7・8月号

花南市立図書館



花南市立図書館は、みなさんが利用しやすいようによくつづけています。どんどん利用してください。

### 図書館が開いている曜日・時間

火曜日から金曜日  
午前9時から午後6時まで  
土曜日・日曜日  
午前9時から午後5時まで  
休みは、毎週月曜日

### 本の貸し出しについて

一人5冊までとし、2週間以内に受付へ返してください。

### 読書相談日

1・2年生 火曜日  
3・4年生 水曜日  
5・6年生 木曜日



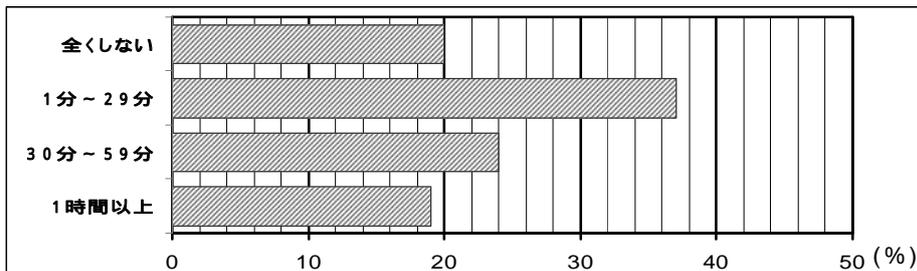
図書館員が、決められた曜日の開館時間内に相談にのります。

### 本を探するとき

コンピュータを使うことができます。使い方が分からないときは、係の人に聞いてください。

### 読書情報 あなたは、どれくらいの時間、本を読んでいますか？

「家や図書館での一日の読書時間」(平成20年6月現在)



(花南市の6年生を対象にした。土曜日・日曜日を除く。マンガや雑誌はふくまない。)



### 7月・8月の図書館行事



#### 「かけ絵」

- ・「三年とうげ」
- ・7月29日(火)
- ・15:30～16:00

どなたでも  
参加できます

#### 「読み聞かせ」

- ・「お手紙」
- ・8月2日(土)
- ・10:30～11:00

図書館委員の川村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用するようになればいいと考えています。次は、川村さんたちの町にある花南市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んであとの問いに答えましょう。

一 六年生の川村さんは、調べ学習に役立つ本の選び方について図書館員に相談することになりました。川村さんは、何曜日の、何時から何時までの間に相談することができるかを、次のメモに取りました。「図書館だより」の内容に合うように、ア・イの中に入るふさわしい言葉や数字を書きましょう。

【メモ】

<input type="checkbox"/> ア	<input type="checkbox"/> イ
曜日の午前九時から	
時までの間に相談することができる。	

二 川村さんたち図書委員は、「図書館だより」を読んで、「家や図書館での一日の読書時間」について話し合いました。次は、その時の記録の一部です。あなたなら、ウのところでどのような内容を発表しますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

【話し合い記録の一部】

司会 「図書館だより」をもとに、「わたしたち六年生の読書時間を増やすこと」をテーマとして話し合います。「図書館だより」の中のグラフから分かったことと、それをもとにして考えたことを発表してください。

川村さん 家や図書館で1日に1時間以上読書をする六年生は、約20%もいることが分かりました。わたしは、あまり読書をしていないので、時間を計画的に使って、もっと本を読もうと考えました。

あなたの発表

ウ

～（話し合いが続く）～

【条件】

- 話し合いのテーマに合わせて、グラフから分かったことと、それをもとにして考えたことを書くこと
- 分かったことについては、川村さんの発表の内容と同じにならないこと
- 八十字以上百字以内にまとめて書くこと

(メモ) 左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

